

平成23年度  
東葉高速線地域公共交通活性化・再生総合事業  
実施報告書

目次

実施済み事業について

1. 第15回東葉サマーコンサートの開催・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～ 9
2. 開業15周年記念事業の実施・・・・・・・・・・・・・・・・ 10～31
3. 開業15周年記念乗車券の発売・・・・・・・・・・・・・・・・ 32～35
4. 第3回東葉・家族車両基地まつりの開催・・・・・・・・・・・・・・・・ 36～49
5. 東葉東京メトロパスキャンペーンの実施・・・・・・・・・・・・・・・・ 50～57

実施中の事業について

6. コンコース行先表示器の設置・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
7. モビリティマネジメントのリーフレットの作成・・・・・・・・ 59～60

# 1. 第15回東葉サマーコンサートの開催

## (1) イベント概要

①名称 第15回東葉サマーコンサート

②サブタイトル 希望の想い この音楽にのせて

### ③目的

鉄道利用者へ日頃のご愛顧に感謝するとともに、沿線地域の方々が当社線により一層の親しみを持っていただくことでさらなる鉄道利用の促進につなげることを目的とする。また、今回のサマーコンサートは、東日本大震災により被災された方々に対し、心からのお見舞いと今後の復興の願いを込め、「希望の想い この音楽にのせて」をサブタイトルとし、音楽を通じた心の支援も目的として開催する。

④開催日 平成23年8月25日(木)

※26日(金)は雨天のため中止

⑤開催時間 25日(木) 17:00～20:50

⑥開催場所 八千代緑が丘駅南側駅前広場

⑦出演校 25日(木)

東葉高校 軽音楽部

八千代高校 鼓組

八千代東高校 吹奏楽部

船橋芝山高校 吹奏楽部

八千代松陰高校 吹奏楽部

船橋東高校 吹奏楽部

※26日(金)に出演を予定していた学校

萱田中学校 吹奏楽部

高津中学校 吹奏楽部

八千代高校 吹奏楽部

千葉英和高校 吹奏楽部

秀明八千代高校 吹奏楽部

⑧主催 東葉高速鉄道活性化協議会(千葉県、船橋市、八千代市、東葉高速鉄道株)

⑨後援 船橋商工会議所、八千代商工会議所

- ⑩協 賛 イオン八千代緑が丘ショッピングセンター  
NPO 法人シティーデザインネットワーク八千代、(株)伊藤楽器  
(株)サンカジロ、ネオス(株)、大塚製菓(株)、サントリーフーズ(株)  
キリンビバレッジ(株)、(株)ポッカコーポレーション  
(株)ジェイコム千葉 (順不同)

(2) 実績

来場者数 約 2,400 名

(3) 広報活動

①ポスター掲出

東葉高速線各駅、東葉高速線車両中吊り、新京成線各駅  
千葉県、船橋市(出張所等を含む)、八千代市(支所等を含む)  
出演校、船橋商工会議所、八千代商工会議所  
イオン八千代緑が丘ショッピングセンター



駅貼りポスター (B1 サイズ)



中吊りポスター (B3 サイズ)

②ホームページ・サイト

東葉高速鉄道、八千代市、千葉県観光物産協会、まいぷれ

③車内放送

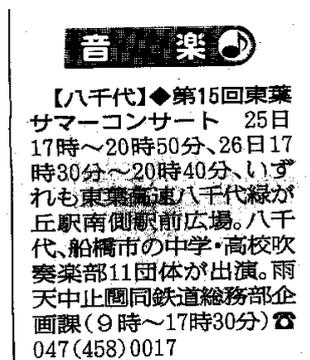
東葉高速線内

④地元広報紙への掲載

広報やちよ、ハンドシェイクふなばし、商工やちよ、やちやすみ  
ぐるっと千葉

### ⑤新聞社等への情報提供

千葉県庁記者クラブ、船橋市記者クラブ、関東鉄道協会  
(掲載紙:千葉日報、関東鉄道協会)



千葉日報の掲載記事

### ⑥PR用うちわ

東葉高速線各駅、船橋市（出張所等を含む）、八千代市（支所等を含む）  
明治ゴルフセンター、イオン八千代緑が丘ショッピングセンター、当日の会場



### ⑦行先表示器

飯山満駅、八千代緑が丘駅、八千代中央駅のラチ外に設置の行先表示器へ掲出



行先表示器への掲出の様子

#### (4) 当日の様子



サブタイトルの「希望の想い この音楽にのせて」のとおり、力強い演奏が来場された方々に元気を与えた。



吹奏楽の他に軽音楽と和太鼓による演奏も行われた。



昨年より使用電力を抑え、節電に努めた。また、東日本大震災の復興を願い「がんばろう！千葉」ののぼりを掲げた。



司会は、地元の企業の方や大学生にご協力いただいた。また、八千代市長からご挨拶をいただいた。

### (5) 実施総括

東葉サマーコンサートは、夏の恒例イベントとして沿線に定着し、今年の開催で15回を数えた。東葉高速線も今年の4月27日で開業15周年を迎え、東葉高速線と共に歩んできたイベントといっても過言ではない。

今回は、前回の出演団体に八千代松陰高校の吹奏楽部を加え、開催以来最多の11団体の出演で、8月25日、26日の2日間で開催予定であった。しかしながら、雨天の影響により、26日の開催は残念ながら中止とした。

第12回の東葉サマーコンサート以来の1日開催となったが、25日は天候に恵まれ、今までの1日の最高出演団体数の5団体を上回る6団体のみなさんの力強い演奏に約2,400名という多くの方々が耳を傾け、大盛況に終わった。

また、来場者を対象に行ったアンケート結果からは、極めて好意的な反応をうかがうことができた。

来場のきっかけでは、「東葉高速線各駅のポスター」または「行先表示器」を見て来たという方が約4割いたことから、一昨年度設置した公設掲示板、昨年度設置した行先表示器の広報効果も大きいものと思われる。

また、当日サマーコンサート以外にも沿線でスーパーや飲食店等に立ち寄る場所があると回答した方が8割近くにも上ったことから、地域の活性化にも結びつけられるイベントであった。

## (6) アンケート集計結果

①実施日 平成23年8月25日(木) 晴時々曇

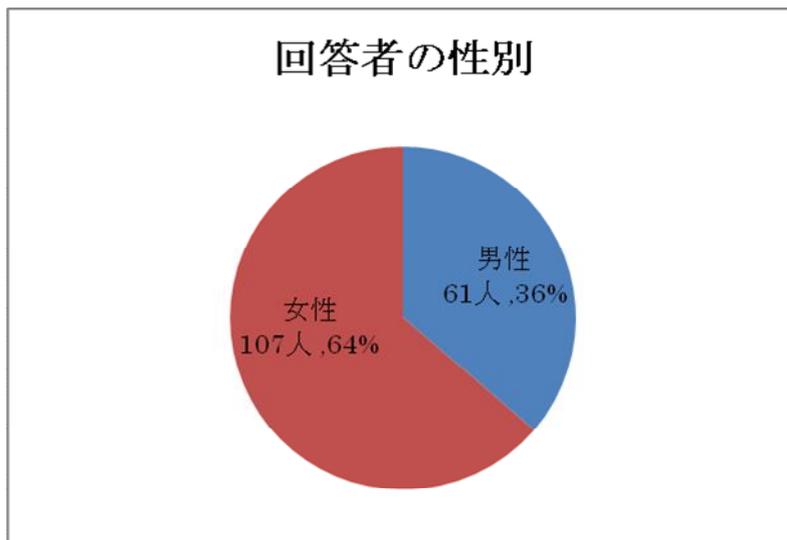
②実施場所 八千代緑が丘駅南側駅前広場

③来場者数 約2,400名

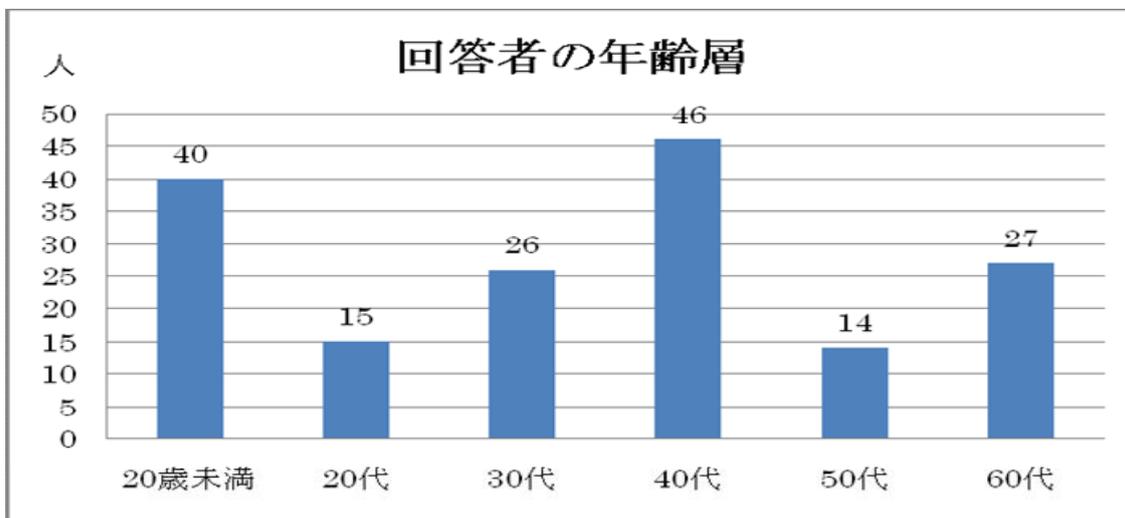
④出演者数 240名

⑤アンケート結果

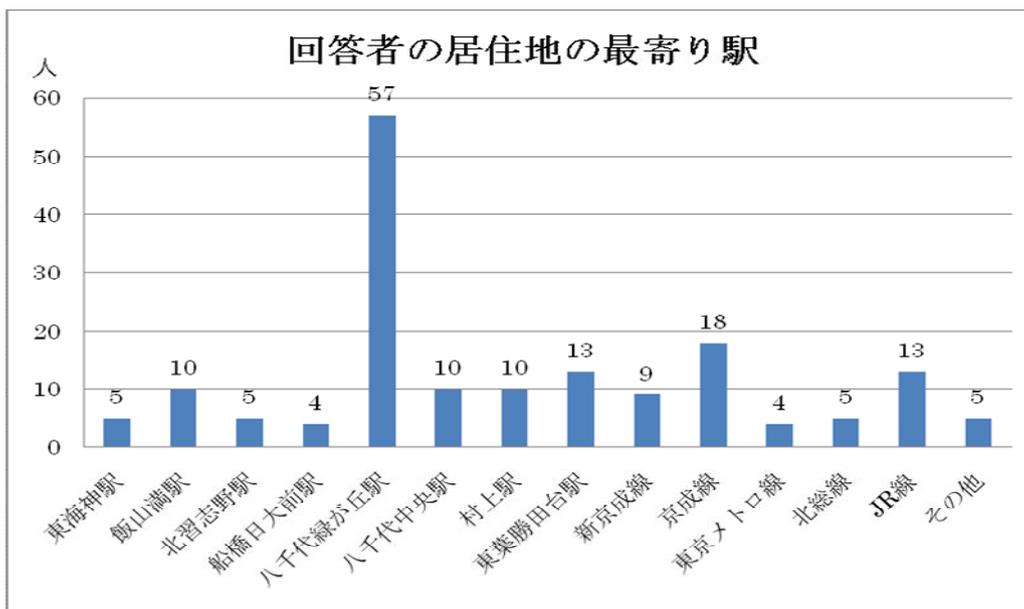
※有効回答は168枚



回答者の割合は男性：女性が1：2であったが、会場も女性の来場者が目立ち、例年どおり女性の割合が多くなった。

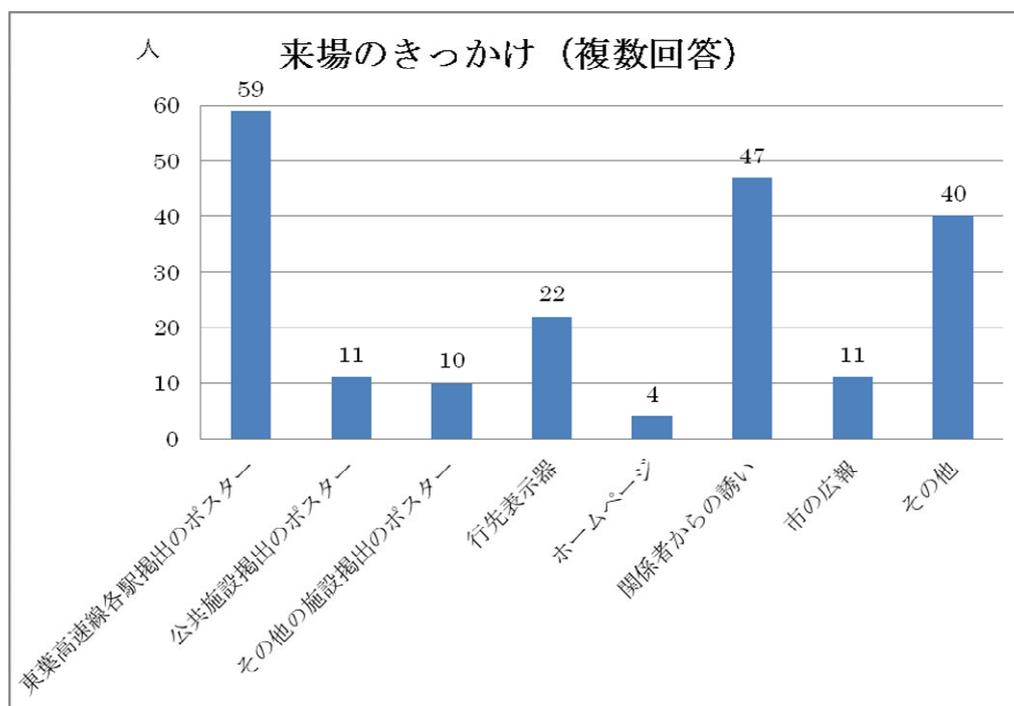


20歳未満の方が多かった理由は、出演者の友達や先輩・後輩が来場していたためとみられ、40歳代の方が多かった理由は、出演者の親世代と考えられる。昨年度とほぼ同様の構成となった。



東葉高速線沿線の学校が出演することもあるため、7割弱の方が東葉高速線沿線に居住しており、その5割の方が八千代緑が丘駅周辺に居住している。地元のイベントとして定着していることがうかがえる。

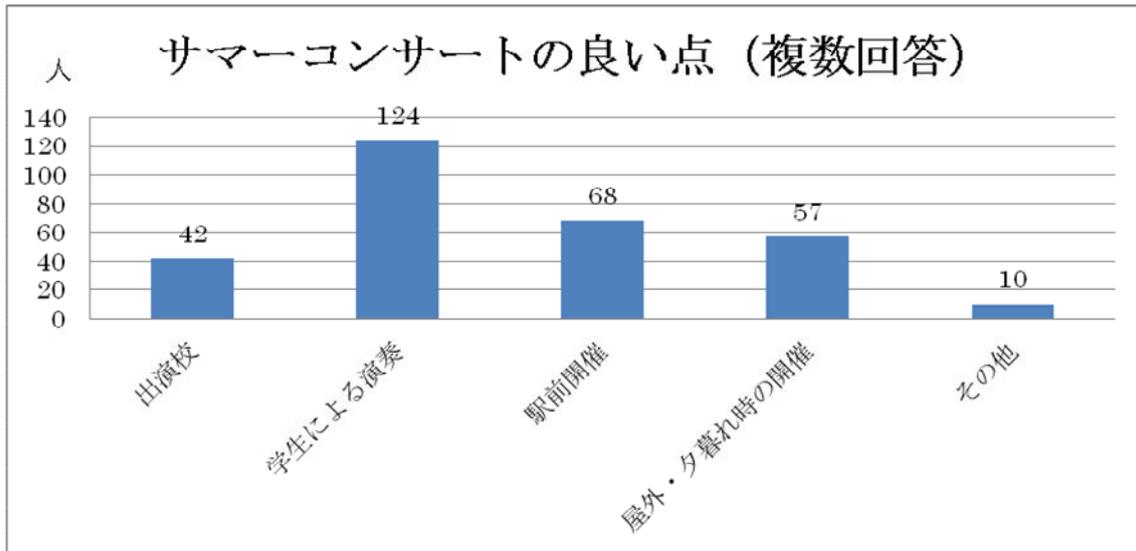
新京成線各駅にもポスターを掲出したが、新京成線沿線の方の来場者はアンケート結果を見る限りでは少数であった。



来場のきっかけで1番多かった回答は、「東葉高速線各駅掲出のポスター」であり、公設掲示板の効果がうかがえる。

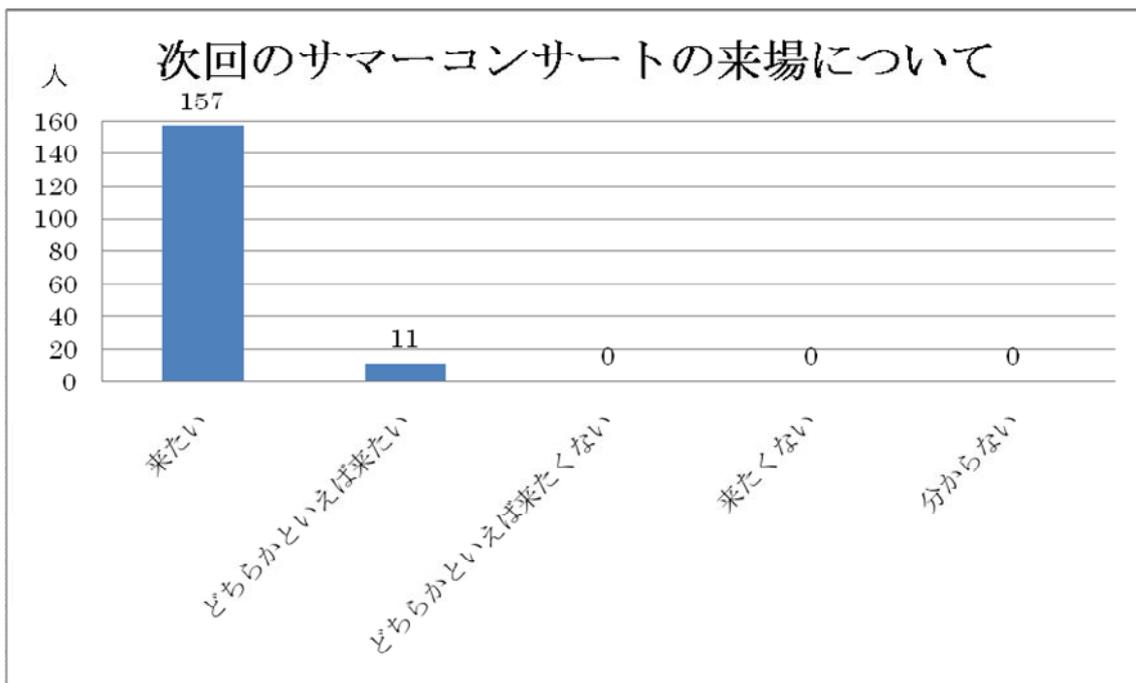
また、2番目に多かった回答は、「関係者からの誘い」であった。これは、前述した“回答者の年齢層”で出演者の同世代や親世代の来場が多かったことが考えられる。

昨年度設置した「行先表示器」を来場のきっかけと回答した方は約1割であった。

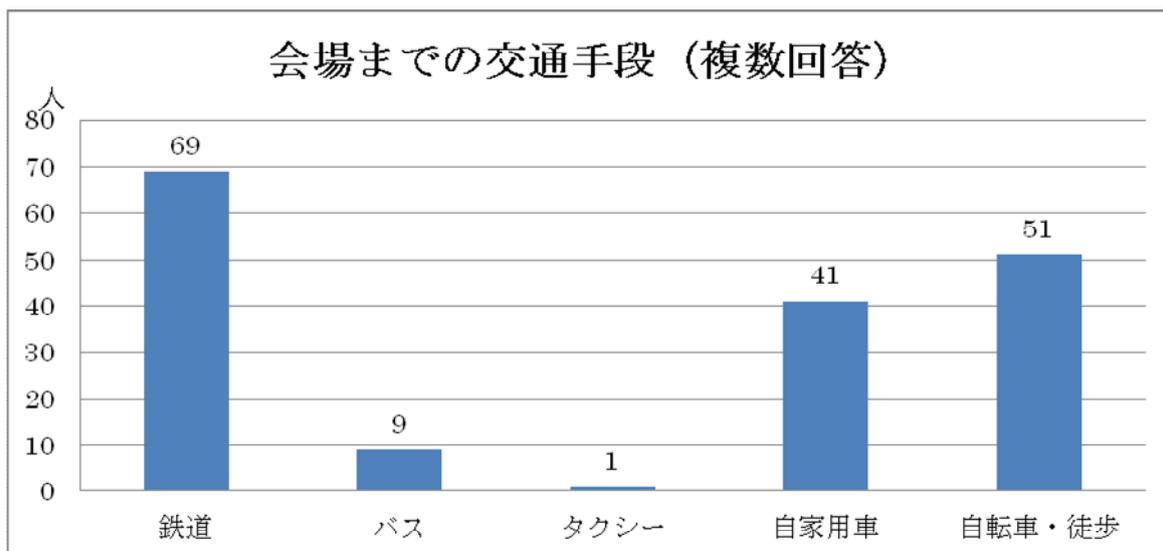


例年と同様に「学生による演奏」が一番多かったことから、出演スタイルとして支持されている。

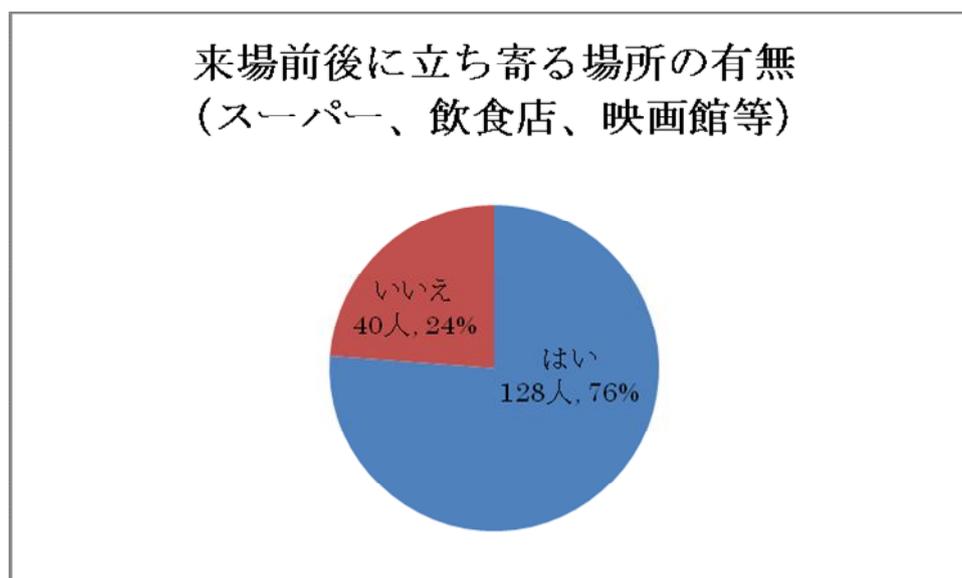
また、「駅前開催」や「屋外・夕暮れ時の開催」と回答された方も多くことから、来場しやすい環境にあることが推察される。



アンケートを回答した方からは、肯定的な意見が多く大変満足度の高い反応をいただいた。中には毎年来ているという方もおられ、東葉高速鉄道の夏の恒例イベントになっているといえる。



今年は、昨年1番多かった「自転車・徒歩」を抜いて「鉄道」がトップになった。サマーコンサートを開催することにより、鉄道利用の促進につなげるという目的を果たすことができたと考えられる。



昨年よりも1割多い8割弱の方が商業施設等に立ち寄ると回答したことから、「東葉サマーコンサート」の開催が地域の活性化に寄与したものと考えられる。

## 2. 開業 15 周年記念事業の実施

### 駅からウォーク

#### (1) 目的

東葉高速鉄道は、地域とともに歩む鉄道会社として、地域に親しまれる企業を目指し、日々努力を重ねているところである。今回のウォークについては、沿線住民や鉄道利用者の健康づくりに貢献するとともに、地域の歴史をたどることで沿線住民に地域への愛着を持っていただき、沿線の活性化や鉄道旅客増につなげることを目的に実施する。

#### (2) イベント概要

##### ①名 称

東葉高速線開業 15 周年記念 東葉健康ウォーク～下野牧の跡をたずねて～

##### ②開 催 日

平成 23 年 10 月 8 日 (土)

##### ③スタート

東葉高速線 船橋日大前駅 東口【受付時間 9:00～9:30】

##### ④ゴ ー ル

東葉高速線 飯山満駅【受付時間 10:00～12:30】

##### ⑤コ ー ス

約 8km

船橋日大前駅→<sup>こわしみず</sup>子者清水→<sup>のまよけどて</sup>野馬除土手→<sup>おんぼやし</sup>御 林→旧近藤家長屋門→飯山満駅

##### ⑥参加方法

当日集合場所で受付

##### ⑦参 加 費

無料

##### ⑧主 催

東葉高速鉄道活性化協議会

##### ⑨後 援

NPO 法人船橋レクリエーション協会

##### ⑩協 賛

(株)伊藤園、ジェイティエースター(株)、ダイドービバレッジサービス(株)  
利根コカ・コーラボトリング(株)

##### ⑪参加特典

完歩バッジ、飲料水



▲ 参加特典の完歩バッジ

### (3) 開催当日の様子



船橋日大前駅東口のスタート受付。  
参加申込書を受け取り、代わりにペット  
ボトルの飲料水を渡した。



せせらぎの道（遊歩道）を進む参加者  
の列。



北習志野近隣公園の中を進む。



見どころ①「子者清水」。  
泉は現存しないが、説明板を読んだり  
写真を撮ったりする参加者の姿が見ら  
れた。



見どころ②「野馬除土手」。  
船橋市立高根台第二小学校の敷地内に土手と説明板がある。  
学校から見学の許可は得られなかったが、この日は運動会が行われており、門は開けられていた。



飯山満川沿いの道を進む参加者の列。  
道幅は広いが自動車の通行は少ない。  
見どころ③「御林」は今回のコース沿いにはなく、左手の台地の上に残る。



見どころ④「旧近藤家長屋門」。  
東葉高校の敷地内にあり、事前に学校から見学の許可をいただいている。  
当日は教頭先生（左端の方）が、自主的に門の前で参加者に解説をしてくださった。



飯山満駅前のゴール受付。  
高架下のためテントはない。  
手前で完歩バッジを渡し、奥の記載台でアンケート記入をお願いした。

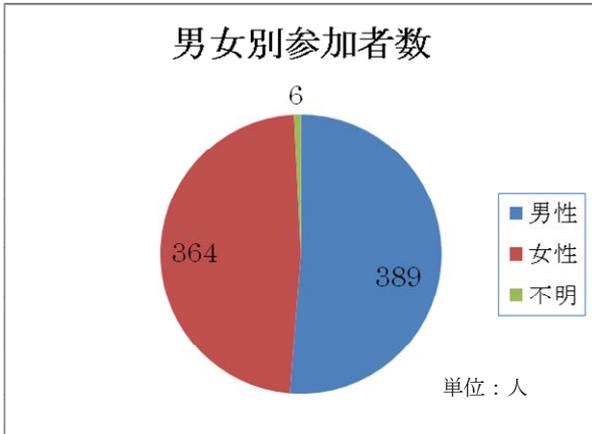
#### (4) 参加者数とその属性

##### ①参加者数

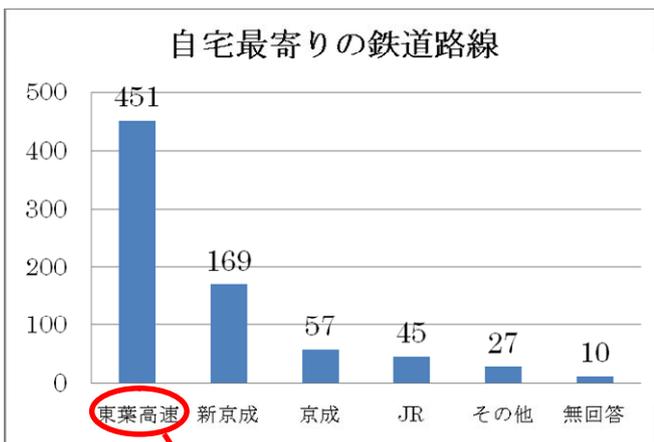
759名

##### ②参加者の属性

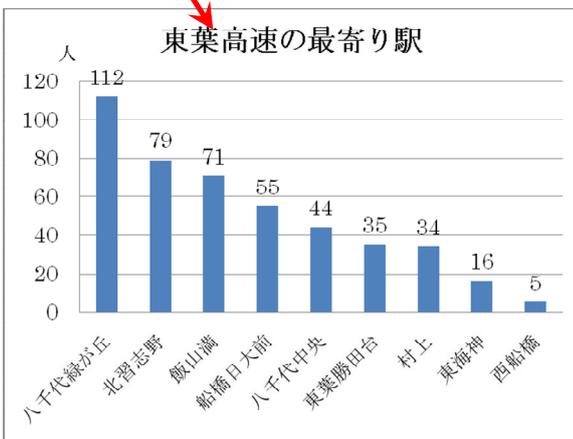
参加申込書を基に集計した結果は以下のとおり



これまでのウォークと異なり、初めて男性の参加者数が女性の参加者数を上回った。

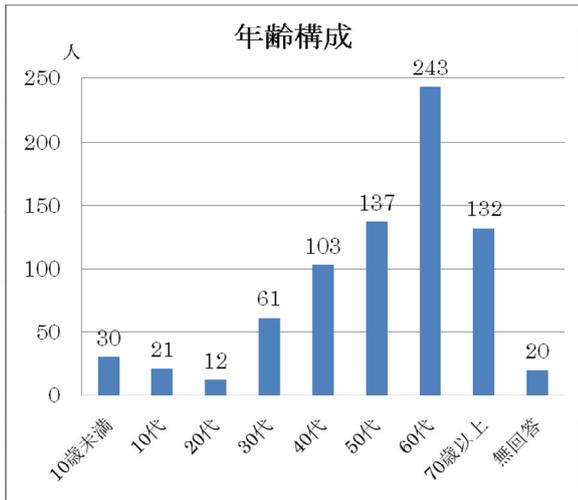


最寄り路線が東葉高速線である参加者は約6割であり、他線の沿線から参加した人も多い。



東葉高速線を駅別にみると、首位が八千代緑が丘である点は従来と同様であるが、ゴール地点となった飯山満が3位に浮上している。

今回は船橋市内で完結するコースだったが、結果的に船橋市内の駅と八千代市内の駅で参加者はほぼ同数であった。

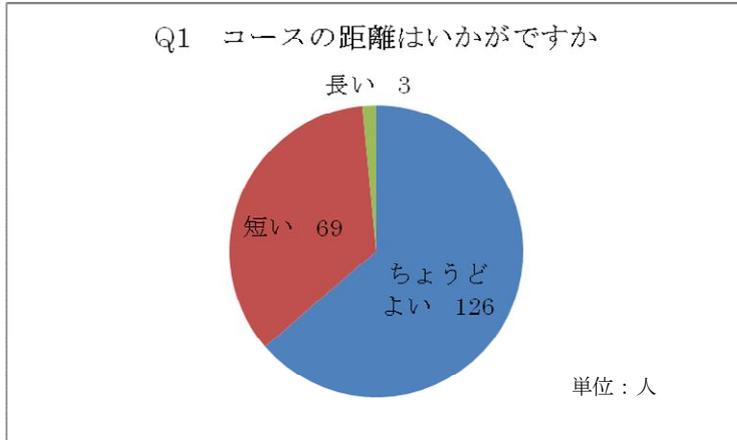


60代にピークがある構成は従来通りで、中高年層の参加が目立つ一方、10代20代の参加者は極端に少なくなっている。

## (5) 参加者アンケート

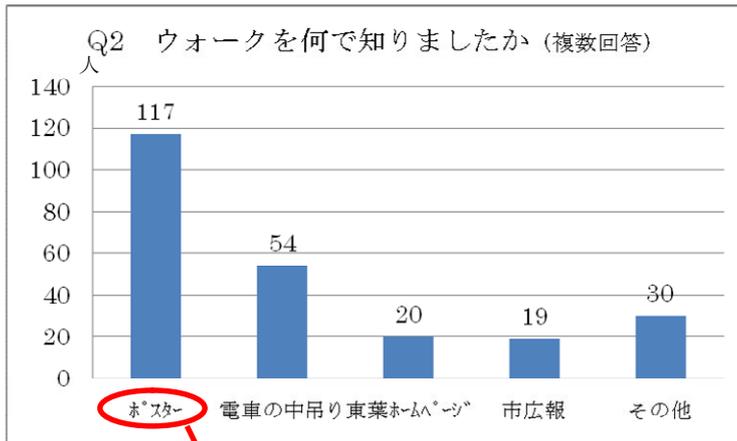
ゴール会場で先着 200 名に記入していただいたアンケートの結果は以下のとおり

Q1 今回のウォークコースの距離（約 8km）はいかがでしたか？

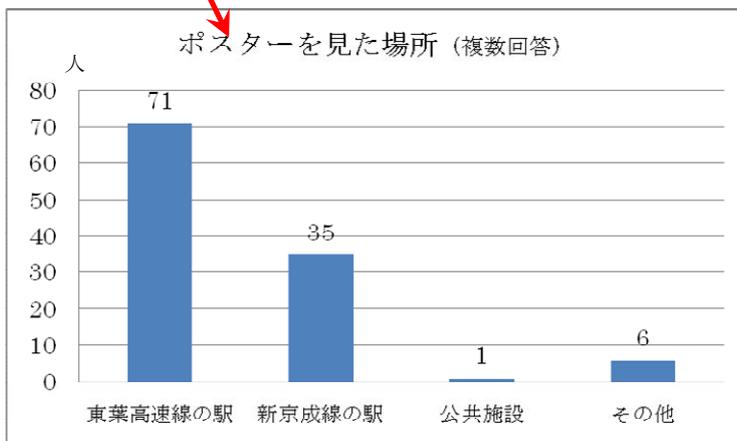


ちょうどよいとした人が 6 割を超えているが、短いとした人も少なくない。  
他社の状況を見るともう少し距離は長くてもよいかもしれない。

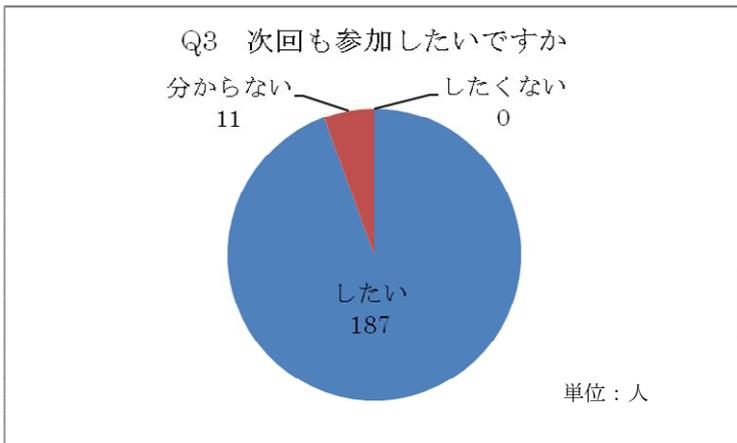
Q2 今回のウォークイベントは何で知りましたか？（複数回答）



開催をポスターで知った人が最も多く、人の集まる駅施設での告知効果の大きさが感じられる。  
電車内の業務枠に掲出した中吊りについても、PR には大きく寄与したことがわかる。

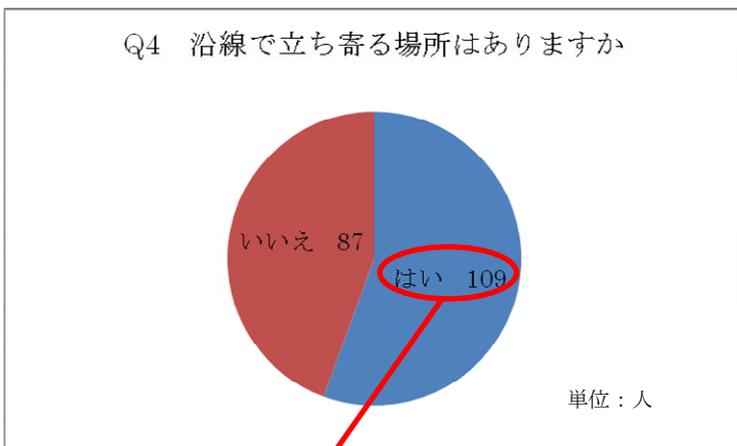


Q3 次回も東葉高速鉄道のウォークイベントに参加したいですか？

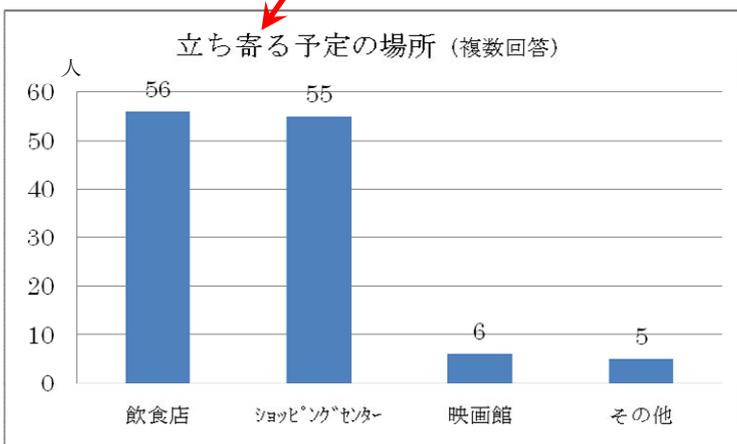


参加したいとした人の割合が94%に達し、Q1で「距離が短い」と回答した人にもウォークを楽しんでもらえたことがうかがえる。

Q4 ウォーク終了後に東葉高速線沿線の商業施設で立ち寄る予定の場所がありますか？



沿線の商業施設に立ち寄る予定のある人は55%程度で、ウォークのためだけに外出した人も少なくない。



寄る予定の場所としては、ゴールがちょうど昼時だったためか、飲食店とした人が多い。

## (6) 広報活動

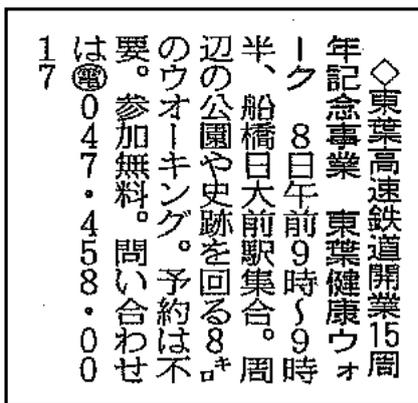
- ・東葉高速、新京成の各駅および千葉県庁、船橋市役所（出張所）、八千代市役所へのポスター掲出
- ・東葉高速、新京成の各駅および船橋市役所（出張所）、八千代市役所でのチラシ配布
- ・東葉高速3駅（飯山満、八千代緑が丘、八千代中央）での行先表示器への表示
- ・東葉高速、船橋レクリエーション協会の公式サイトへの掲載
- ・東葉高速車内（業務粋）への中吊りポスター掲出
- ・東葉高速車内での案内放送
- ・「テッピーニュース 2011」（「鉄道の日」実行委員会広報誌）への掲載
- ・「広報ふなばし【10/1号】」への記事掲載
- ・「まなびネットやちよ」（八千代市生涯学習情報提供システム）への掲載
- ・「千葉日報【10/1付】」への広告掲載
- ・「地域新聞【9/23付】」への広告掲載
- ・報道機関への投げ込み（県政記者クラブ、船橋新聞記者会）による告知  
（⇒「日本経済新聞【10/5付】」記事掲載）



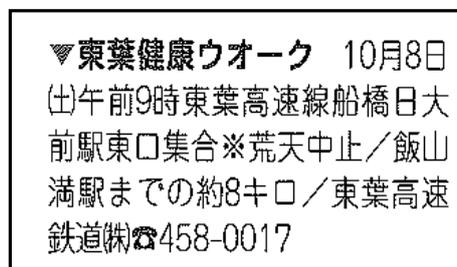
▲ 駅公設掲示板へのポスター掲出



▲ 改札外行先表示器への表示



▲ 日本経済新聞（10/5付）掲載



▲ 広報ふなばし（10/1号）掲載

## 駅装飾

### (1) 目的

開業 15 周年を迎えた東葉高速鉄道から地域住民や鉄道利用者の方々へ感謝を示すとともに、東葉高速線に一層の親しみを持っていただき、沿線の活性化につなげることを目的に実施する。

### (2) 開催概要

#### ①名 称

東葉高速線開業 15 周年記念 沿線今昔写真展

#### ②開催内容

15 年前（平成 8 年）の沿線の様子と現在（平成 23 年）の様子とを比較する写真展を、北習志野駅・八千代緑が丘駅・東葉勝田台駅の 3 駅（いずれも改札外）で開催し、来場者に自由に見学していただく。

写真は A3 サイズに拡大したものを用意し、イベントパネルを使用して改札外コンコースに展示する（各駅 10 枚）。展示写真は駅ごとに別のものを用意する。

#### ③開催期間

平成 23 年 10 月 8 日（土）～平成 23 年 11 月 6 日（日）

#### ④主 催

東葉高速鉄道活性化協議会

#### ⑤展示写真

(i) 北習志野駅

・北習志野駅駅前広場

バスの操車場跡に駅ビルが建ち、駅前広場も整備された



・北習志野駅改札口

自動改札機が設置され、今では1日平均3万6千人に利用されている



むかし



いま

・習志野台トンネル坑口付近（飯山満～北習志野間）

飯山満トンネルと習志野台トンネルの間の高架橋には防音シェルターが設置された



むかし



いま

・飯山満駅西側（東海神～飯山満間）

東葉高速線を走る電車も様変わりした（左は当時の1000形電車）



むかし



いま

- ・海老川橋梁（東海神～飯山満間）

海老川にかけられた橋の上を 2000 系電車が通過



(ii) 八千代緑が丘駅

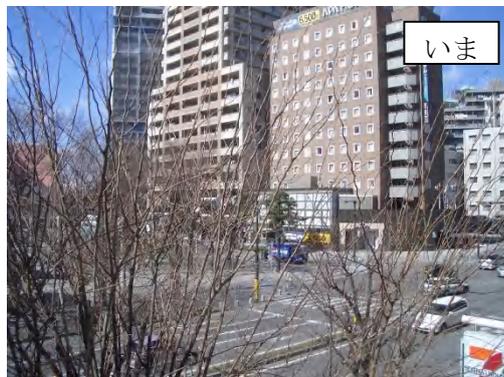
- ・八千代緑が丘駅南側

駅前にはショッピングセンターが建ち、さらにマンションが建設中



- ・八千代緑が丘駅北側

開業当時の駅前の様子。今ではホテルやマンションが立ち並ぶ



・車両基地引き込み線

引き込み線の周りの空き地の状況（開業当時の様子と現在の様子）



・車庫線分岐点

車両基地への分岐点付近の状況（開業当時の様子と現在の様子）



・八千代中央駅

竣工式典当日の様子。今では多くの鉄道利用者や地元住民で賑わう



(iii) 東葉勝田台駅

・村上駅

駅前にビルや交番ができ、道路の交通量も増えて賑やかになった



・国道 16 号との交差

国道との交差部分から順に桁が架けられ、現在に至っている



・新川大橋

開業当時は新川対岸から駅全体がよく見えた



・村上駅前

15年前の道路工事中の様子



・東葉勝田台駅暫定出入口

かつて存在した開業当時の暫定出入口。現在は閉鎖されて駐車場になっている



## 車両ラッピング

### (1) 目的

東葉高速線が平成23年4月27日に開業15周年を迎えたことから、沿線地域やご利用のお客様に日頃の感謝を表すとともに、都心方面への広範囲にPRすることで、東葉高速線の更なる認知度の向上を目的に実施する。

### (2) 事業概要

#### ①運行期間

平成23年10月8日(土)～11月6日(日)

#### ②運行区間

東葉高速線東葉勝田台駅～東京メトロ東西線中野駅

#### ③ラッピング編成数

東葉高速2000系1編成

#### ④ラッピング箇所

(i) ヘッドマーク

前後各1枚 計2枚

(ii) 車両添付シール

1車両側面各2枚 計40枚(2枚×2面×10両)

#### ⑤広報活動

- ・東葉高速鉄道公式サイトへの掲載
- ・報道機関への投げ込み(県政記者クラブ、船橋新聞記者会)

### (3) ラッピング電車外観



## PR活動

### (1) 目的

東葉高速線が平成 23 年 4 月 27 日に開業 15 周年を迎えたことを記念して、地域住民及び当社線利用者に感謝を示すとともに、より一層の親しみを持っていただくことを目的に、ポスター・新聞媒体等を利用した PR 活動を実施する。

合わせて、開業 15 周年記念事業（「駅からウォーク」、「駅装飾」、「車両ラッピング」）等の案内も掲載し、東葉高速線の利用促進も図る。

また、開業 15 周年を連想させるロゴを作製し、開業 15 周年記念事業及び企画乗車券の発売事業（開業 15 周年記念乗車券の発売）に共通して使用することで事業全体の統一感を演出する。

### (2) PR概要

#### ①ロゴによるPR

##### (i) 作製したロゴ



##### (ii) ロゴを使用した事業

- ・駅からウォーク（東葉健康ウォーク）
- ・駅装飾（沿線今昔写真展）
- ・車両ラッピング
- ・PR活動（PRポスター、新聞掲載）
- ・企画乗車券の発売（開業 15 周年記念乗車券の発売）

## ②ポスター掲出によるPR

### (i) ポスター内容

開業15周年記念事業（「駅からウォーク」、「駅装飾」、「車両ラッピング」）の実施、開業15周年記念乗車券の発売及び開業15周年記念ピンバッジの発売を案内

### (ii) ポスターのサイズ

B1

### (iii) ポスターの作製枚数

100枚

### (iv) 掲出場所

東葉高速線各駅、新京成線各駅、千葉県庁、船橋市役所（出張所を含む）  
八千代市役所（支所、図書館を含む）



▲ 駅構内での掲出の様子

## ③新聞媒体を利用したPR

### (i) 新聞媒体

- (A) 千葉日報
- (B) 地域新聞

(ii) 掲載内容

(A) 千葉日報

- ・対談（千葉県知事と東葉高速鉄道社長）
- ・主要株主からのメッセージ（船橋市、八千代市、東京地下鉄）
- ・開業 15 周年記念事業（「駅からウォーク」、「駅装飾」、「車両ラッピング」）の実施、開業 15 周年記念乗車券の発売及び開業 15 周年記念ピンバッジの発売を案内

(B) 地域新聞

- ・開業 15 周年記念事業（「駅からウォーク」、「駅装飾」、「車両ラッピング」）の実施、開業 15 周年記念乗車券の発売及び開業 15 周年記念ピンバッジの発売を案内

(iii) 掲載時期

(A) 千葉日報

平成 23 年 10 月 1 日（土）

(B) 地域新聞

平成 23 年 9 月 23 日（金）

(iv) 配布地域及び配布部数

(A) 千葉日報

千葉県内全域

(B) 地域新聞

	配布地域
東葉版	【八千代市】大和田新田、高津団地、高津、萱田、ゆりのき 米本団地、村上団地、勝田台、上高野 【千葉市】みはる野
八千代台版	【八千代市】八千代台東・西・南・北、大和田 【習志野市】東習志野 8 丁目 【千葉市】花見川団地、柏井、作新、長作、こてはし台、千種町
船橋東版	【船橋市】習志野台、西習志野、芝山、新高根、高根台、松が丘 坪井東・西
津田沼版	【船橋市】前原、中野木、駿河台、田喜野井、飯山満、滝台、薬円台
船橋北版	【船橋市】高根町、金杉、緑台、三咲、大穴、高野台、八木が谷 みやぎ台、咲が丘、二和
船橋南版	【船橋市】海神、本町、栄町、湊町、市場、宮本、東船橋、浜町 若松団地
船橋中央版	【船橋市】夏見、北本町、馬込町、藤原、上山町、旭町、前貝塚町 行田、丸山、山手
船橋西版	【船橋市】海神、印内、古作、西船、葛飾、山野町

- (v) 配布部数
  - (A) 千葉日報
    - 約 174,000 部
  - (B) 地域新聞
    - 約 311,500 部
- (vi) 掲載広告の大きさ
  - (A) 千葉日報
    - 縦 514mm × 横 382mm
  - (B) 地域新聞
    - 縦 137mm × 横 254mm
- (vii) 掲載の様子
  - (A) 千葉日報

千葉日報 (日曜) 2011年 (平成23年) 10月1日 (土曜) (16)

### 祝辞

**県北西部発展の重要な役割**  
 千葉県副知事 孝七  
 東葉高速鉄道は、県北西部の発展に重要な役割を果たす。沿線地域の活性化と、地域の発展に貢献することを期待する。

**親しまれる地域密着の鉄道**  
 千葉県副知事 俊隆  
 東葉高速鉄道は、沿線地域の活性化と、地域の発展に貢献することを期待する。

**首都圏のネットワークを担う**  
 千葉県副知事 俊隆  
 東葉高速鉄道は、首都圏のネットワークを担う重要な役割を果たす。

### 対談

小川 雅司氏  
 森田 健作氏  
 東葉高速鉄道の開業を前に、沿線地域の活性化と、地域の発展について対談した。

### 活気ある沿線地域と共に発展

東葉高速鉄道が開業15周年を迎える。沿線地域の活性化と、地域の発展に貢献することを期待する。

### 東葉高速鉄道の歴史

43年 2月1日 東葉交通運輸株式会社設立  
 44年 9月1日 東葉高速鉄道株式会社設立  
 45年 3月1日 東葉高速鉄道株式会社設立  
 53年 10月1日 工事開始  
 7年 10月1日 レール開始  
 8年 4月1日 営業開始  
 40年 10月1日 東葉高速鉄道株式会社設立  
 11年 10月1日 東葉高速鉄道株式会社設立  
 12年 10月1日 東葉高速鉄道株式会社設立  
 19年 2月1日 PASM導入  
 21年 10月1日 東葉高速鉄道株式会社設立  
 22年 4月1日 開業15周年

### ランニング車両や記念乗車券

15周年記念乗車券の発売。沿線地域の活性化と、地域の発展に貢献することを期待する。

### 高い安全意識でサービス提供

東葉高速鉄道の安全意識と、サービスの向上について。沿線地域の活性化と、地域の発展に貢献することを期待する。

### 東葉高速鉄道の楽しいイベントに行こう!

15周年記念乗車券の発売。沿線地域の活性化と、地域の発展に貢献することを期待する。

### 記念ピンバッジ発売

東葉高速鉄道15周年記念乗車券の発売。沿線地域の活性化と、地域の発展に貢献することを期待する。

### ラッピング列車が走るよ!

東葉高速鉄道15周年記念乗車券の発売。沿線地域の活性化と、地域の発展に貢献することを期待する。

### 東葉高速鉄道株式会社

沿線地域の活性化と、地域の発展に貢献することを期待する。

### 沿線今昔写真展

東葉高速鉄道15周年記念乗車券の発売。沿線地域の活性化と、地域の発展に貢献することを期待する。

### 沿線今昔写真展

東葉高速鉄道15周年記念乗車券の発売。沿線地域の活性化と、地域の発展に貢献することを期待する。

(B) 地域新聞

**給湯器最大70%OFF!**  
お洗濯機と給湯器を同時購入  
あなたにぜひお薦めします!

ノーリツ 給湯器  
ST-C068RAWXMB  
本体65%OFF  
定価¥368,800 → ¥134,500  
工事費込み価格  
合計¥154,500

ノーリツ 給湯器  
ST-C060RAWX  
本体70%OFF  
定価¥306,600 → ¥91,980  
工事費込み価格  
合計¥110,000

**(株) 吉川液化ガス**  
0120-41-2427  
住所: 船橋市西船8-31-10 営業時間: 8:00~18:00  
船橋支店: 0476-82-1111 船橋支店: 0476-82-1111

**はなまる日記**  
「はなまる日記」は、毎朝の朝ごはんを楽しく迎えるための「はなまる日記」です。毎朝の朝ごはんを楽しく迎えるための「はなまる日記」です。毎朝の朝ごはんを楽しく迎えるための「はなまる日記」です。

「はなまる日記」は、毎朝の朝ごはんを楽しく迎えるための「はなまる日記」です。毎朝の朝ごはんを楽しく迎えるための「はなまる日記」です。毎朝の朝ごはんを楽しく迎えるための「はなまる日記」です。

**5050** で避難所MAPが確認できるようになりました。

- 避難所検索および地図表示
- 避難所へのルート検索
- クチコミ機能を活用した避難所ごとの伝言掲示板

**ふなばし現代アート展**  
「アラカルト」を開催した若者たち

ふなばし現代アート展「アラカルト」を開催した若者たち。この展覧会は、若者たちが自らの手で制作した作品を展示する機会となりました。

この展覧会は、若者たちが自らの手で制作した作品を展示する機会となりました。この展覧会は、若者たちが自らの手で制作した作品を展示する機会となりました。

**第4回 エッセイコンテスト 結果発表**

最優秀賞 該当作品なし  
優秀賞 「リード」 鎌倉市 天野 明さん(88)  
優秀賞 「三月十一日」 柏市 飯野 玄さん(16)

**東葉高速鉄道 15周年 開業15周年**

日頃のご愛顧に感謝し、東葉高速鉄道はこれからもみなさまに愛される鉄道を目指します。

**東葉健康ウォーク**  
開催日時: 10月8日(土) 9:00~9:30受付  
コース: 船橋日大前駅東口→子香清水(北習志野近隣公園)→野馬除土手(高根台第二小学校)→御林(七林町)→旧近藤家長屋門(東葉高校)→飯山満駅  
距離: 約8km  
参加費用: 無料  
参加特典: 完歩バッジ・飲料水

**開業15周年記念 乗車券発売**  
発売期間: 10月8日(土)~11月6日(日)  
有効期間: 発売期間と同様  
有効区間: 当社線全線(西船橋駅~東葉路台駅間)  
発売箇所: 当社線各駅窓口・物産館各所  
発売価格: 大人800円(税込) 小児400円(税込)  
発売枚数: 大人2,700枚 小児300枚

**写真展**  
実施期間: 10月8日(土)~11月6日(日)  
実施駅: 北習志野駅・八千代緑が丘駅・東葉路台駅  
実施内容: 東葉高速鉄道の変遷を紹介 ※駅ごとに異なる写真を展示します。

**記念ピンバッジ発売**  
発売期間: 10月8日(土)~12月31日(土)  
発売箇所: 当社線各駅窓口・物産館各所  
発売価格: 600円(税込) 発売枚数: 1,000個

**ラッピング列車が走るよ!**  
実施期間: 10月8日(土)~11月6日(日)  
実施内容: 開業15周年記念ヘッドマーク及びシールを装着 高速鉄道200系1編成に装飾

**記念イベントがもりだくさん**  
東葉高速鉄道 総務部企画課  
047-458-0017  
www.toyokosoku.co.jp

## 総括

東葉高速鉄道は、平成 8 年 4 月 27 日に開業し、今年で 15 周年を迎えた。そこでこれを記念し、この「開業 15 周年記念事業」を実施した。

本来であれば開業月の 4 月から実施する予定であったが、3 月の東日本大震災の影響で半年程度遅れての実施とした。

毎年実施している「駅からウォーク」については、今年度は開業 15 周年記念事業の一環として、「東葉高速線開業 15 周年記念 東葉健康ウォーク ～下野牧の跡をたずねて～」の名称で実施した。

今年のウォークイベントは天候に恵まれ、怪我等のトラブルもなく無事終わることができた。コースの距離が若干短いのではないかと懸念はあったが、終わってみれば過去 2 番目に多い 759 名の方に参加いただく結果になり、沿線の見どころを P R できたものとする。

また、東葉高速鉄道が掲げる「地域との共生」に基づき、地元船橋市で活動する「NPO 法人船橋レクリエーション協会」と連携し、本事業の運営を行った。

東葉高速鉄道活性化協議会によるウォークイベントは今年で 3 回目となり、協議会主催のものとしては今回が最後になるが、次回実施時は、これまでに蓄積したノウハウを活かしながら、引き続きより良いイベントを目指して取り組んでいく。

「駅装飾」については、開業 15 周年を迎えた東葉高速鉄道から地域住民や鉄道利用者の方々へ感謝を示すとともに、東葉高速線に一層の親しみを持っていただき、沿線の活性化につなげることを目的に、15 年前の沿線の様子と現在の様子とを比較する写真展を、北習志野駅・八千代緑が丘駅・東葉勝田台駅の 3 駅で開催し、来場者に自由にご覧いただいた。

改札外コンコースに展示したことにより、お客様はもとより、東葉高速線を利用しない方にもご覧いただく機会があり、開業後に沿線に入居された方からは沿線の発展ぶりに驚嘆する声が寄せられ、東葉高速線について一層の理解を深めていただくことができた。

「車両ラッピング」については、開業 15 周年記念事業のロゴを用いたヘッドマーク及び車体シールを東葉高速鉄道の車両に貼り付け、開業 15 周年の P R を行った。11 月 6 日に開催した「第 3 回東葉・家族車両基地まつり」においてラッピング電車を展示したことや、東葉高速線が東京メトロ東西線と相互直通運転を実施していることから、広範囲に P R することができた。なお、ラッピング電車の運行期間中には、利用者からこのラッピング電車の運行に関する問い合わせが複数寄せられ、一定の P R 効果はあったものとする。

「P R 活動」については、「開業 15 周年記念事業」（「駅からウォーク」、「駅装飾」、

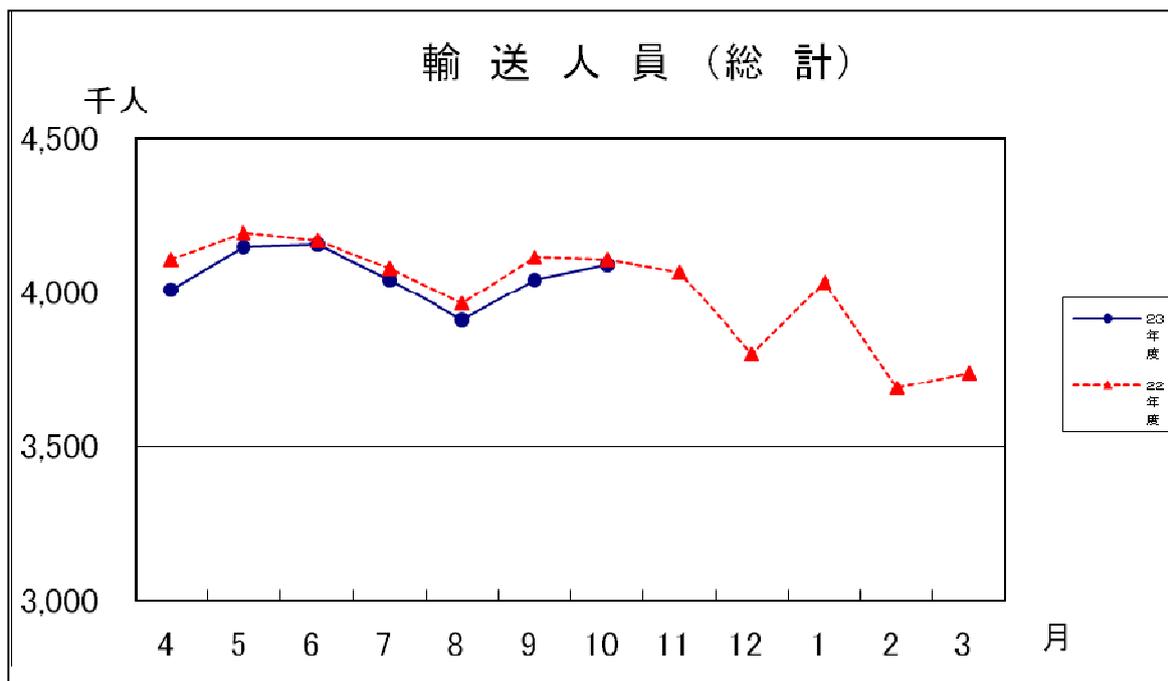
「車両ラッピング」) の情報に併せて、「開業 15 周年記念乗車券の発売」及び「開業 15 周年記念ピンバッジの発売」の情報を掲載したポスターを、事業実施の約 1 か月前から東葉高速線沿線を中心に掲出して P R を実施した。また、新聞媒体による P R も実施し、より多くの方に認知していただけるよう努めた。

その結果、前述したように「駅からウォーク」については過去 2 番目に多い 759 名の方に参加していただき、「開業 15 周年記念乗車券」については大人券が完売、「開業 15 周年記念ピンバッジ」については駅発売分が完売し、「P R 活動」の成果によると考える。

各種施策を実施した結果、開業 15 周年記念事業を実施した期間にあたる今年度の 10 月の輸送人員は、昨年度の 10 月の輸送人員とほぼ同数となっている。東日本大震災の影響により、以下のグラフのとおり 9 月以前については、昨年度の実績を下回っていたが、10 月については昨年度並みにまで持ち直した。

このようなことから、開業 15 周年記念事業の実施が東葉高速線の利用促進及び地域の活性化に寄与できたものとする。

(参考)



### 3. 開業 15 周年記念乗車券の発売

#### (1) 企画乗車券の概要

- ①乗車券名 東葉高速鉄道開業 15 周年記念乗車券
- ②目的  
開業 15 周年記念事業（東葉健康ウォーク・沿線今昔写真展・2000 系車両ラッピング）  
に合わせて 10 月～11 月の期間において、開業 15 周年記念乗車券を作成・発売し、  
東葉高速線の利用促進を図る。
- ③乗車券内容 一日乗車券  
有効期間内の 1 日に限り、東葉高速線内全線有効  
※乗車回数制限なし
- ④発売期間 平成 23 年 10 月 8 日（土）～11 月 6 日（日）  
（東葉健康ウォーク～東葉・家族車両基地まつりの期間）  
※売切次第終了
- ⑤利用期間 平成 23 年 10 月 8 日（土）～11 月 6 日（日）  
※期間内 1 回に限り有効
- ⑥発売箇所 当社線各駅窓口（西船橋駅を除く）
- ⑦発売数 大人 2,700 枚  
小児 300 枚
- ⑧発売価格 大人 800 円  
小児 400 円

⑨デザイン

乗車券



台紙 (外側)



台紙 (内側)



## (2) 実績

- ①発売数 2,972 枚 (8 駅合計)  
内訳 大人券 2,700 枚 (10 月 20 日に完売)  
小児券 272 枚

### 駅別発売数

	東海神	飯山満	北習志野	船橋日大前	八千代緑が丘	八千代中央	村 上	東葉勝田台
大人券	130枚	100枚	200枚	170枚	450枚	950枚	300枚	400枚
小児券	20枚	10枚	35枚	14枚	118枚	32枚	11枚	32枚

## (3) 広報活動

### ①ポスター掲出

東葉高速線各駅（公設掲示板を含む）、東葉高速鉄道 2000 系中吊り、千葉県庁船橋市（出張所を含む）・八千代市（支所・図書館を含む）



駅・施設用ポスター

(B1 サイズ片面フルカラー)



中吊り用ポスター

(B3 サイズ片面フルカラー)

### ②ホームページ・サイト

東葉高速鉄道(株)

※開業 15 周年記念事業（東葉健康ウォーク、沿線今昔写真展、2000 系車両ラッピング）の情報と同時提供

### ③新聞社への情報提供

千葉県庁記者クラブ、船橋市記者クラブ

※開業 15 周年記念事業（東葉健康ウォーク、沿線今昔写真展、2000 系車両ラッピング）の情報と同時提供

### ④東葉高速線ラチ外行先表示器

飯山満駅、八千代緑が丘駅、八千代中央駅

### ⑤東葉高速鉄道開業 15 周年記念事業の PR 記事（広告）欄への新聞掲載

#### (4) 実施総括

東葉高速鉄道は、平成8年4月27日に開業し、今年で15周年を迎えた。

この「東葉高速鉄道開業15周年記念乗車券」(以下、「記念乗車券」という。)の発売については、本来であれば開業月の4月から発売する予定であったが、3月の東日本大震災の影響で半年程度遅れての発売とした。

発売期間は、開業15周年記念事業の「東葉健康ウォーク」の実施日である10月8日(語呂から「とうようの日」)から「第3回東葉・家族車両基地まつり」の実施日の11月6日までの30日間で、発売枚数は、大人券及び小児券合わせて3,000枚を発売し、2,972枚売り上げた。特に大人券の2,700枚については、発売から10日余りで全ての駅において完売となる好評ぶりであった。

駅別の発売実績をみると、「船橋市内の駅」と「八千代市内の駅」では、およそ2:8となっており、八千代市内の駅で多く購入された。このことについては、東葉高速線は、都心方面へ向かわれるお客様の利用が多く、記念乗車券の価格が八千代市内の駅から西船橋駅までの通常の往復運賃を下回っており、船橋市内の駅に比べて割安感が強いことが要因と考えられる。

このほかに、日別の発売実績をみると、発売初日に1,400枚近くも売り上げた。これは、記念乗車券の材質を以前発売していたパスネットカードと同様のPET(ポリエチレンテレフタレート)にしたことにより保存しやすくなったことと、記念台紙とセットにして発売したことからコレクションとしての価値が出たことが考えられ、コレクターによる購入があったものと推察できる。

また、発売期間と並行して様々な15周年記念イベント等を実施し、特に北習志野駅、八千代緑が丘駅、東葉勝田台駅で実施した「沿線今昔写真展」を巡るには、1日乗り放題のこの記念乗車券は用途に合ったものとなり、そういった利用もあったものと思われる。

ほぼ完売となった記念乗車券だが、同じ活性化事業の「企画乗車券の発売」事業として、一昨年度実施した「お買物往復きっぷ」(247枚発売)や昨年度実施した「東葉ローズチケット」(336セット発売)に比べ販売枚数が大きく増加した要因としては、前述したように都心方向へ向かわれる方のニーズの多さと乗車券のお買い得感、さらにコレクションとしての価値があったことが挙げられる。

今回の記念乗車券の発売は、発売実績から見て、多くの方々に開業15周年をPRでき、さらに東葉高速線の利用促進にもつながったものと考えられる。

また、東葉高速線の利用促進によって人の流れが活発化し、沿線地域の活性化の可能性が広がったと考えられる。

## 4. 第3回東葉・家族車両基地まっりの開催

### (1) イベント概要

#### ①名 称

第3回東葉・家族車両基地まつり

#### ②目 的

普段は非公開である車両基地を地域に開放することで、近隣の方々との交流を図り、当社に対してより一層の親しみを持っていただくとともに、イベント開催を通じて沿線の魅力を広くPRし、地域全体の活性化に寄与することを目的とする。

#### ③開催日時

平成23年11月6日(日) 10時30分～15時30分

※入場は14時30分まで

#### ④会 場

東葉高速鉄道車両基地

#### ⑤主 催

東葉高速鉄道活性化協議会(千葉県、船橋市、八千代市、東葉高速鉄道株)

#### ⑥後 援

船橋商工会議所、八千代商工会議所、緑が丘自治連合会、東京動物専門学校

#### ⑦来場者数

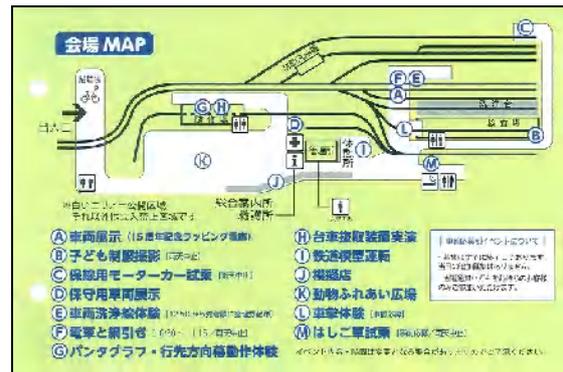
約4,500名(昨年度:約4,500名、一昨年度:約3,500名)

#### ⑧その他

入場無料(来場者には首ひも付き参加カードを配布)



(参加カード:表)



(参加カード:裏)

## (2) 実施イベント

### ①子ども制服撮影

【内容】子ども用の制服及び制帽を着用し撮影

【場所】雨天のため検査庫内で実施



### ②鉄道模型運転

【内容】鉄道模型のデモ走行及び体験運転

【場所】自動車庫内



### ③保線用モーターカー試乗

【内容】モーターカーに軽貨車を連結し、軽貨車に来場者を乗せて走行

【場所】18番線



#### ④車両洗淨線体験

【内容】列車に來場者を乗せ、車内から自動洗淨機を体験する

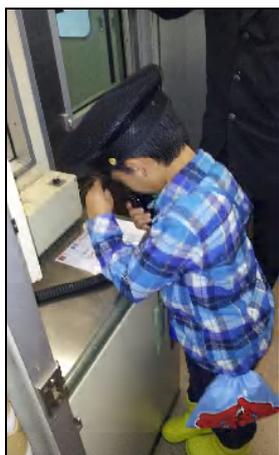
【場所】3番線にて乗降



#### ⑤車掌体験

【内容】実際の車両を使用し、ドアの開閉や車内アナウンスを体験 ※事前応募

【場所】検査庫内



#### ⑥パンタグラフ、行先方向幕動作体験

【内容】車両のパンタグラフ及び行先方向幕の動作体験

【場所】随修庫付近



### ⑦台車抜取装置実演

【内容】車両の台車を抜き取る装置の実演

【場所】随修庫内



### ⑧車両展示

【内容】東葉 2000 系（開業 15 周年記念ラッピング電車）と東京メトロ 07 系の展示

【場所】5、6 番線



### ⑨保守用車両及び技術関係展示

【内容】電気区モーターカーの展示

【場所】管理所付近



## ⑩模擬店

(i) 東葉オリジナルグッズ、遺失物傘販売

※車両部品販売は、雨天により中止



(ii) 同業他社によるグッズ販売 (計 10 社)

新京成電鉄、北総鉄道、首都圏新都市鉄道、千葉都市モノレール、銚子電気鉄道  
いすみ鉄道、富士急行、埼玉高速鉄道、東京臨海高速鉄道、山万



(iii) その他物販 (計 12 団体)

飲食販売、農産物販売、駅弁販売 等



(iv) 東葉社員による飲料販売



(v) 関係団体による各種PR (計3団体)

千葉県県民交流・文化課、都市再生機構、TOHOシネマズ八千代緑が丘



### ⑪動物ふれあい広場

【内容】東京動物専門学校による小動物（ヤギ、ヒツジ等）とのふれあいや乗馬体験



※雨天により、「電車と綱引き」「着ぐるみ」「はしご車試乗」は中止とした

### (3) 広報活動

#### ①ポスター掲出

- ・ 公設掲示板
- ・ 東葉高速線、新京成線及び北総線各駅
- ・ 船橋市及び八千代市の各公共施設
- ・ 船橋商工会議所及び八千代商工会議所
- ・ 緑が丘自治連合会館



公設掲示板（八千代緑が丘駅）

#### ②チラシ配布

- ・ 東葉高速線、新京成線及び北総線各駅
- ・ 船橋市及び八千代市の各公共施設
- ・ 同業他社車両基地イベント（新京成電鉄、千葉都市モノレール、埼玉高速鉄道、つくばエクスプレス）



チラシ（左：表面 右：裏面）

③ホームページ

- ・東葉高速鉄道ホームページ
- ・まいふれ八千代ホームページ

④その他

- ・東葉高速線車内中吊広告掲出（業務枠）
- ・東葉高速線車内での案内放送
- ・行先表示器でのPR（飯山満駅、八千代緑が丘駅、八千代中央駅）
- ・広報やちよ（平成23年10月15日号）
- ・報道機関への投げ込み（県政記者クラブ、船橋市記者クラブ）
- ※千葉日報11月3日朝刊掲載
- ・関東鉄道協会会報（No.133 秋号）



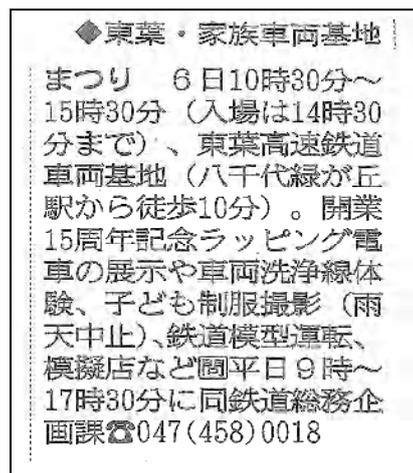
中吊広告（東葉高速線車内）



行先表示器（八千代緑が丘駅）



広報やちよ（平成23年10月15日号）



千葉日報（平成23年11月3日朝刊）

#### (4) アンケート結果

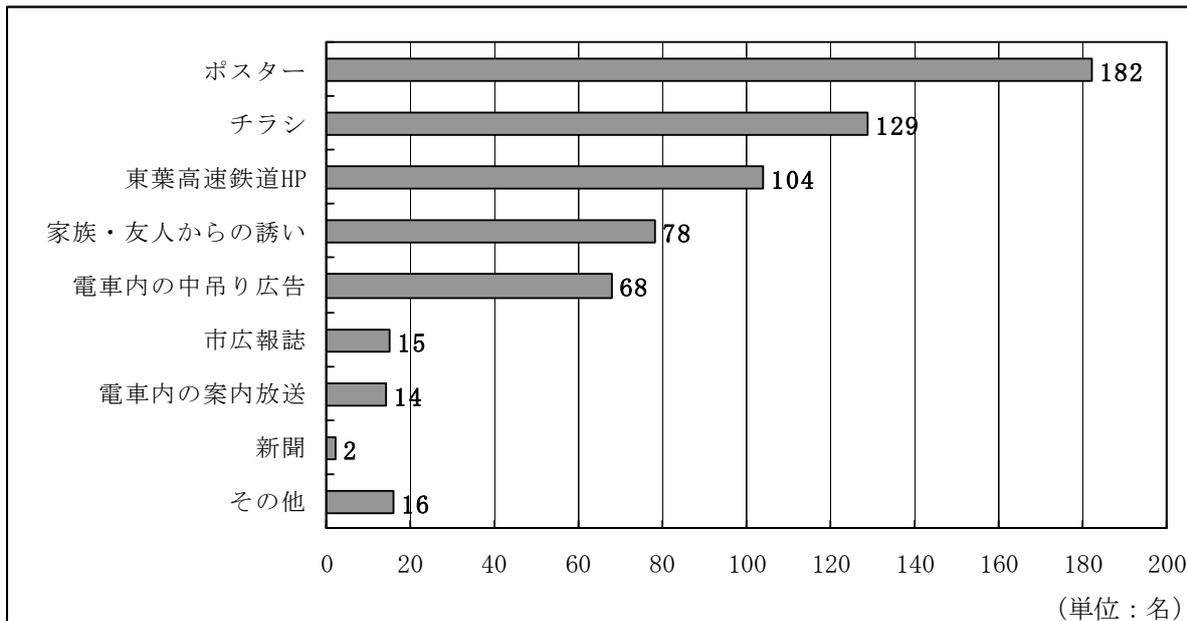
##### 【アンケート方法】

イベント終了1時間前（14時30分）から受付にて実施

##### 【回答者数】

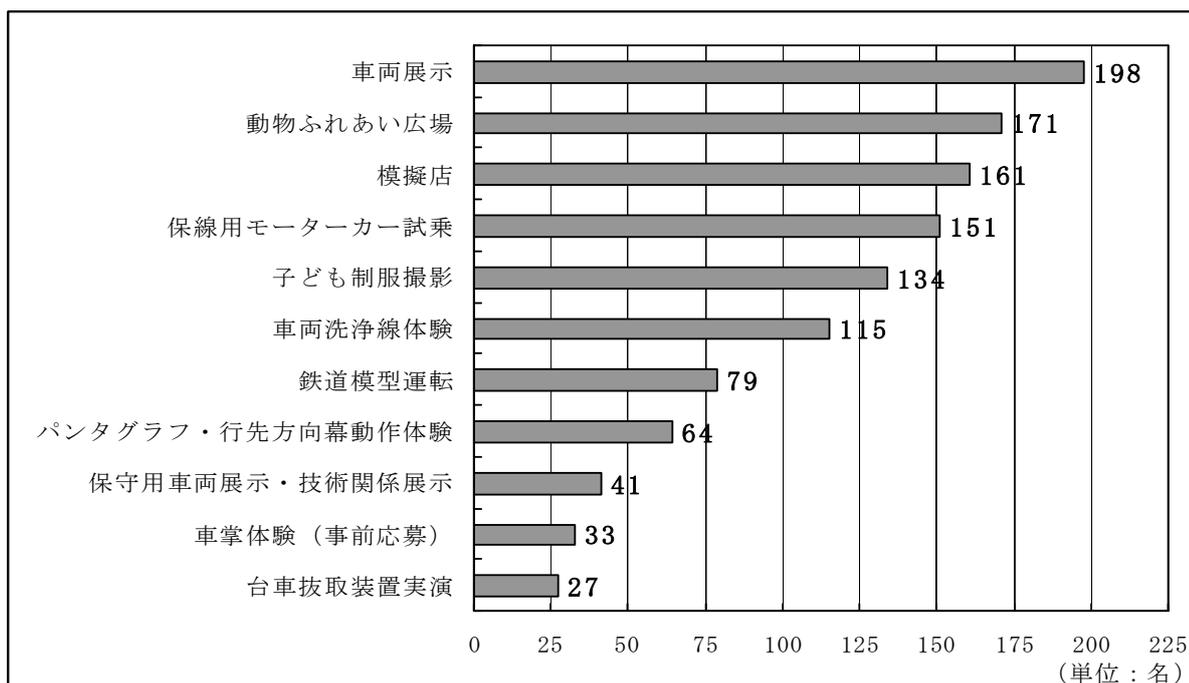
458名

Q1：今回のイベントは何で知ったか？（複数回答）



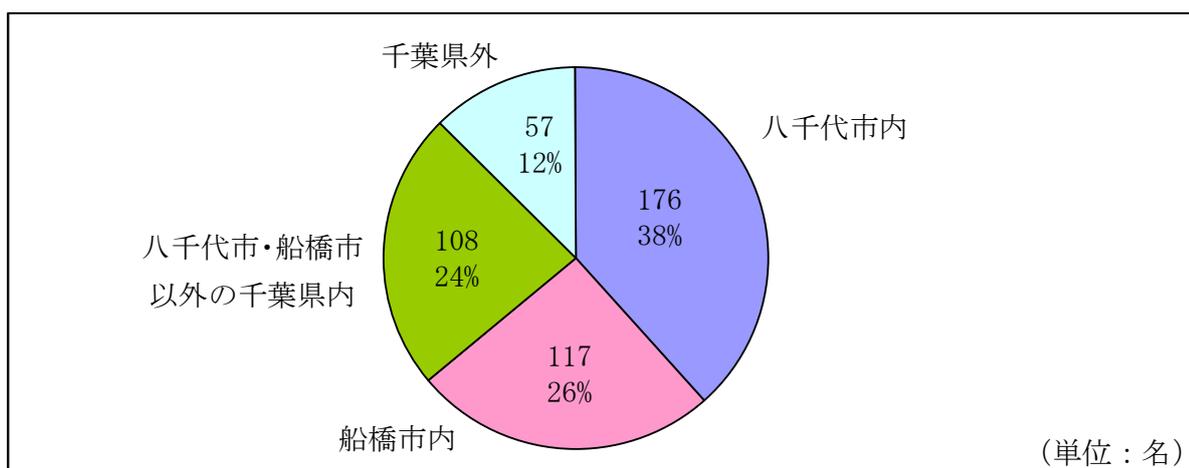
最も多い回答は、「ポスター」であり、次いで「チラシ」「東葉高速鉄道HP」となった。「ポスター」は、東葉高速線各駅（公設掲示板を含む）の他、新京成線及び北総線各駅にも掲出し、さらに船橋市及び八千代市内の各公共施設においても掲出を行い、来場者の誘致に努めた。「チラシ」は、ポスター掲出場所と同様の場所で配布を行ったほか、同業他社の車両基地イベント会場（10/15：新京成電鉄及び千葉都市モノレール、10/22：埼玉高速鉄道、11/3：つくばエクスプレス）においても配布を行い、沿線外からの来場者の誘致を図った。

Q2：今回の「東葉・車両基地まつり」でよかったイベントは何ですか？（複数回答）



最も多い回答は、「車両展示」であり、次いで「動物ふれあい広場」「模擬店」となった。昨年度同様、比較的待ち時間が少なく、誰にでも体験できるイベントに人気が集まった。また、「子ども制服撮影」は、昨年度は整理券配布にて体験者数を制限したが、今年度は先着順として体験者数の制限を実施しなかったことから、今年度は多くの方から好評を得た。なお、今年度初めて実施した「台車抜取装置実演」は、実施場所が会場の中心から外れていたこともあり、回答した人は少数であった。

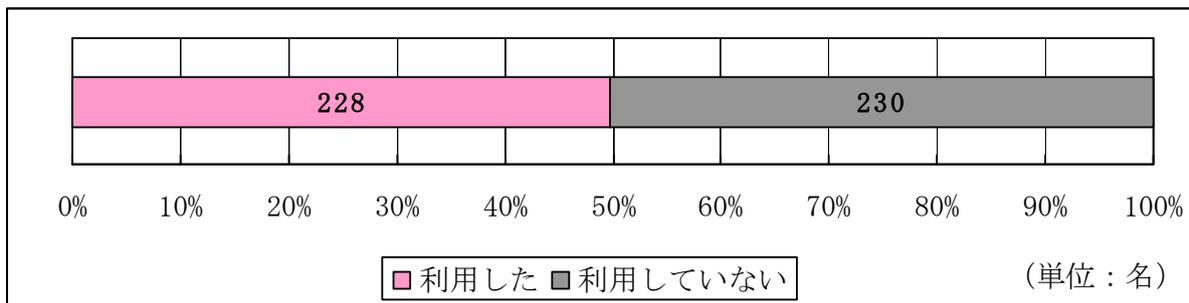
Q3：お住まいはどちらですか？



アンケートの結果、約4割の方が「八千代市内」で、次いで「船橋市内」であった。また、「八千代市・船橋市以外の千葉県内」と回答した人が「船橋市」と回答した人数と概ね同じであった。昨年度同様、地元の八千代市内及び船橋市内から多くの方が来場された。

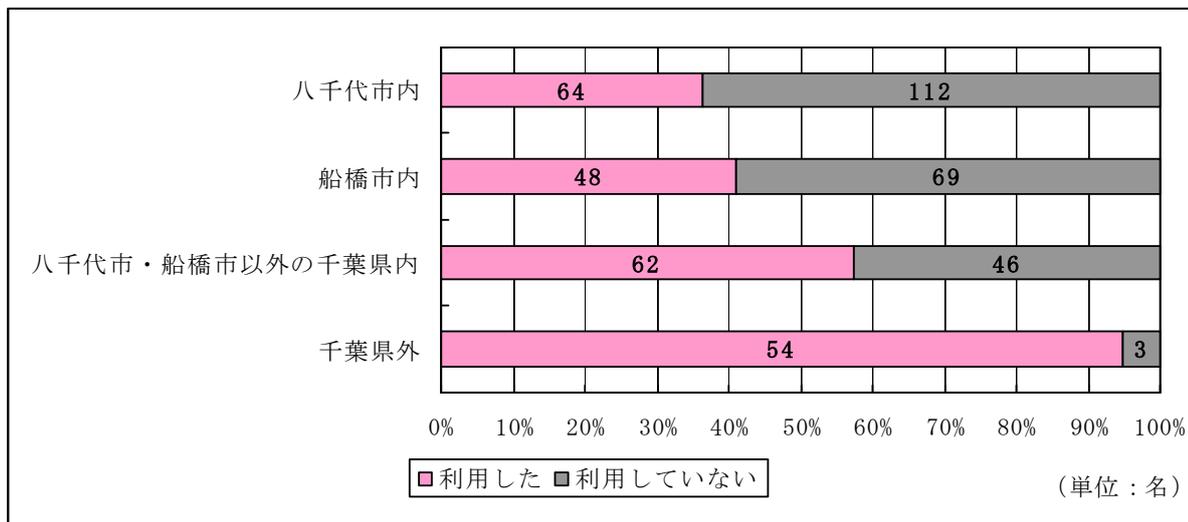
Q 4 : 来場の際に東葉高速線はご利用になりましたか？

【全 体】



アンケートの結果、約半数の人が来場の際に東葉高速線を利用して来場した。昨年度と比較し、「利用した」と回答した人の割合が増加している（昨年度は約4割）。

【居住地別】



居住地別に見ると、会場周辺の「八千代市内」及び「船橋市内」に居住している人は鉄道の利用が少なく、遠方から来場する人ほど鉄道を利用している結果となった。

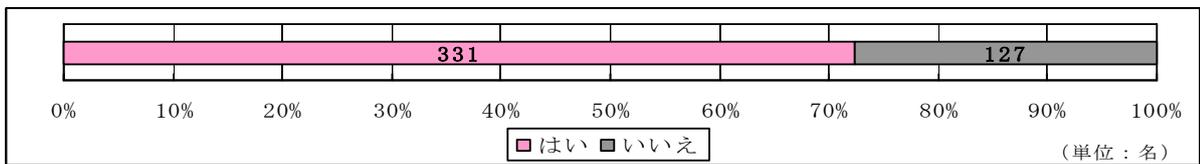
また、イベント当日の八千代緑が丘駅の定期外旅客の人数を見ると、イベント当日の1週間前の日曜日と比べて増加しており、イベント開催によって鉄道の利用促進に繋がった結果といえる。

【参考】 八千代緑が丘駅定期外旅客数（出場側） (単位：名)

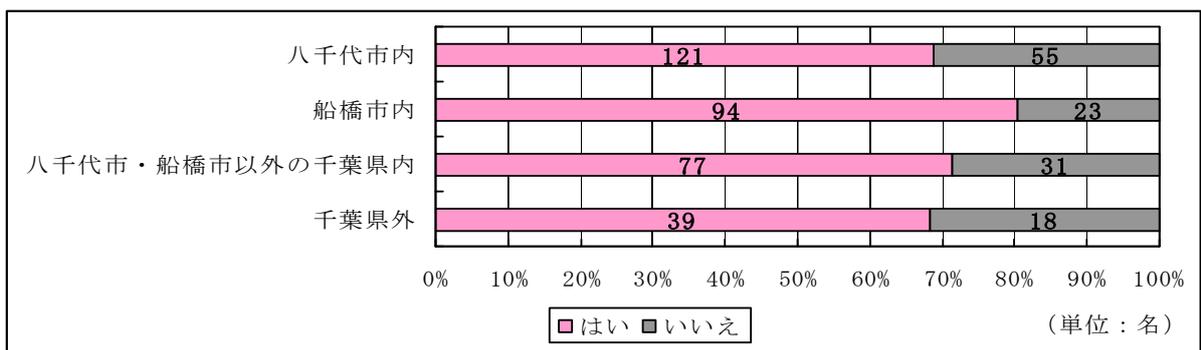
日付	10月30日 (日)	11月6日 (日)	増減
天候	晴	雨	
9:00~14:59	2,040	2,577	537

Q5：お帰りの際、東葉高速線沿線で食事や買い物などをする予定はありますか？

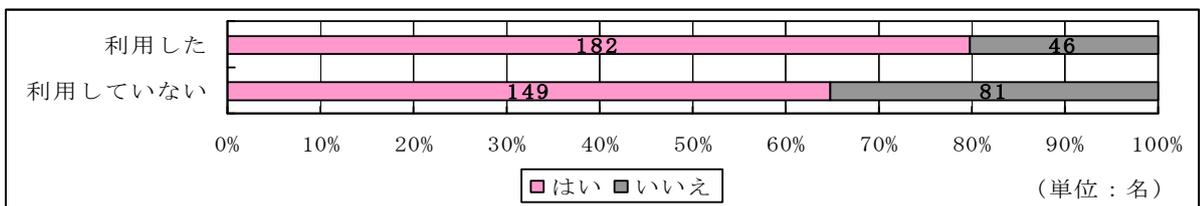
【全 体】



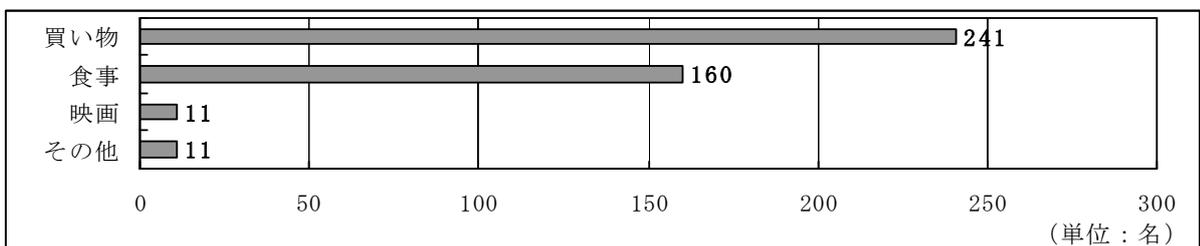
【居住地別】



【東葉高速線利用別】



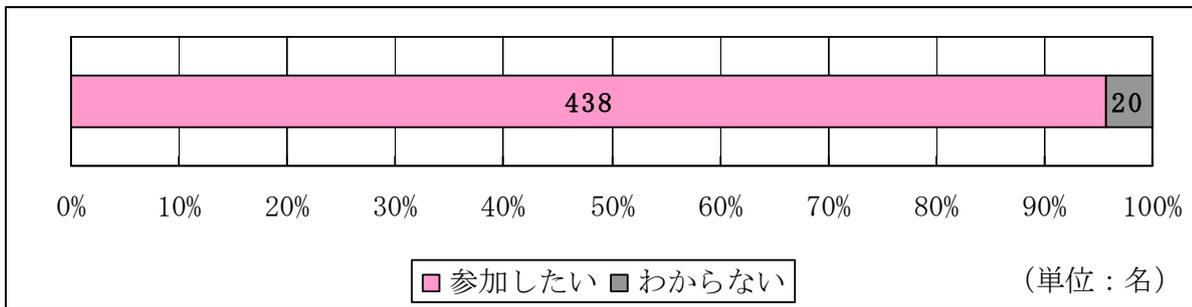
※「はい」と答えた人の回答内容（複数回答）



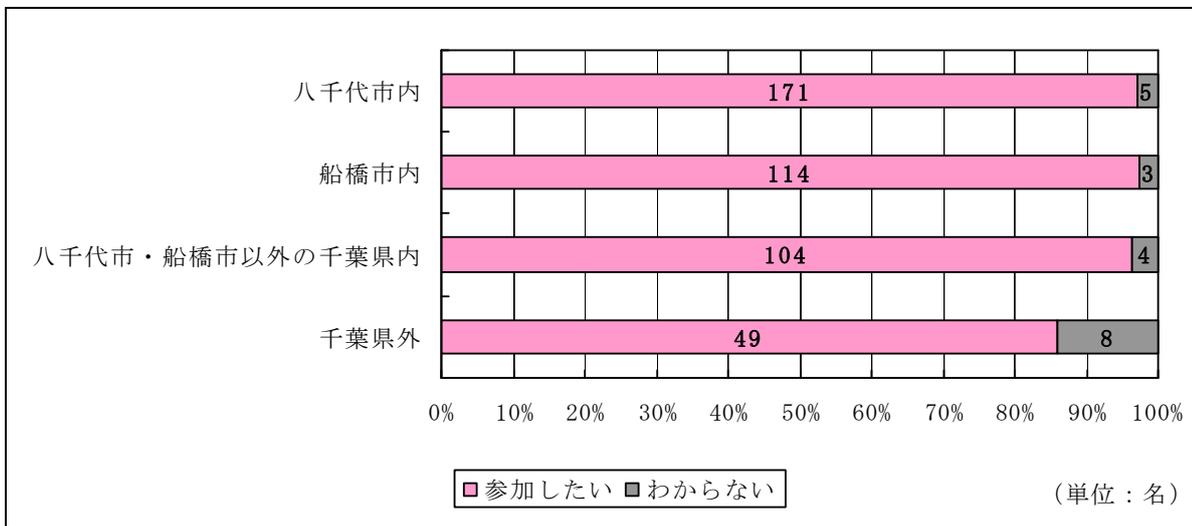
アンケートの結果、約7割の人が「はい」と回答し、「はい」と回答した人の割合は昨年度とほぼ同じ結果であった。居住地別では居住地毎に大差は見られなかったが、鉄道の利用別で見ると、鉄道を利用した人の方が「はい」と回答する割合が高い結果となった。これは、イベントの帰りに八千代緑が丘駅前のショッピングセンターで買い物や食事を予定していた人が多数いたことが考えられる。

Q 6 : 来年も同様のイベントが行われた場合、参加したいですか？

【全 体】



【居住地別】



アンケートの結果、9割以上の方が「参加したい」と回答した。居住地別に見ると、とくに地元の「八千代市内」、「船橋市内」、「八千代市・船橋市以外の千葉県内」に居住する人で「参加したい」と回答した人の割合が高く、このイベントが地元の方を始め、多くの方から好評を得ている結果となった。

## (5) 総括

今年度で3回目となった「東葉・家族車両基地まつり」は、朝方から小雨が降る中での開催となり、一部のイベントが中止となってしまったが、昨年度と同じ約4,500名の方が来場され、大きなトラブルも発生すること無く、盛況のうちに終了することができた。

今年度の車両基地まつりは、過去2回の実績を基に、来場者の方により満足していただけるイベントを目指し、様々な改善策を講じた。例えば、昨年度課題として挙げられた参加カードの不足や飲料の不足に対応するため、参加カードの作製数を昨年度より増やし、飲料を社員自ら販売した。また、当日の会場内の混雑を緩和させるために、一部のイベントで事前応募制を採用し、イベント開催時間を昨年度と比較して前後30分拡大させた。その結果、大勢の来場者から好評を得ることができた。また、来場者の約7割がイベント終了後に東葉高速線沿線での買い物や食事などを予定しており、活性化事業の目的である「地域全体の活性化」に大きく寄与することができたといえる。

最後に、このイベントを開催するに際し、イベント当日の会場内外の警備にご協力いただいた地元自治会（緑が丘自治連合会）の皆様や、動物ふれあい広場を運営していただいた東京動物専門学校の皆様を始め、関係各位に対して深甚なる謝意を表します。

## 5. 東葉東京メトロパスキャンペーンの実施

### (1) 実施概要

#### ①名称

東葉東京メトロパス販売促進 乗っておトク当たっておトクキャンペーン 2011

#### ②目的

企画乗車券「東葉東京メトロパス」の認知度の向上および利用促進を目的とし、今回はターゲットを50～70代のシニア層とし、宣伝活動を行う。

#### ③実施内容

上記期間中に「東葉東京メトロパス」を購入した旅客にアンケート付応募用紙を窓口で配布。アンケートにご記入頂いた方の中から抽選でランチ券などの賞品をプレゼントする。

#### ④実施期間

平成23年11月12日(土)～12月25日(日) 44日間

(前年度：平成22年11月13日(土)～12月26日(日) 44日間)

### (2) 広報活動

#### ①ポスター掲出

東葉高速線各駅、船橋市役所、八千代市役所、船橋新京成バス車内中吊り  
東洋バス車内中吊り



バス車内の中吊りの様子

#### ②ホームページ

東葉高速鉄道

#### ③新聞折込

読売新聞チラシ折込、朝日新聞チラシ折込、地域新聞チラシ折込

#### ④チラシ配布

東葉高速線各駅、船橋新京成バス車内、東洋バス車内、沿線住宅へのポスティング



バス車内のチラシ配布の様子

#### ⑤地元広報紙、他社情報紙への掲載

八千代スタイル、メトロニュース、トレンドランキング、JTB時刻表12月号



トレンドランキングへ掲載

#### ⑥新聞社等への情報提供

千葉県庁記者クラブ、船橋市記者クラブ、国交省記者会、ときわクラブ

#### ⑦サンプリング配布

北習志野駅、八千代緑が丘駅、八千代中央駅、東葉勝田台駅、船橋アリーナ、八千代ふるさとステーション、勝田台市民文化プラザ、湯楽の里（入浴施設）



駅前での配布の様子



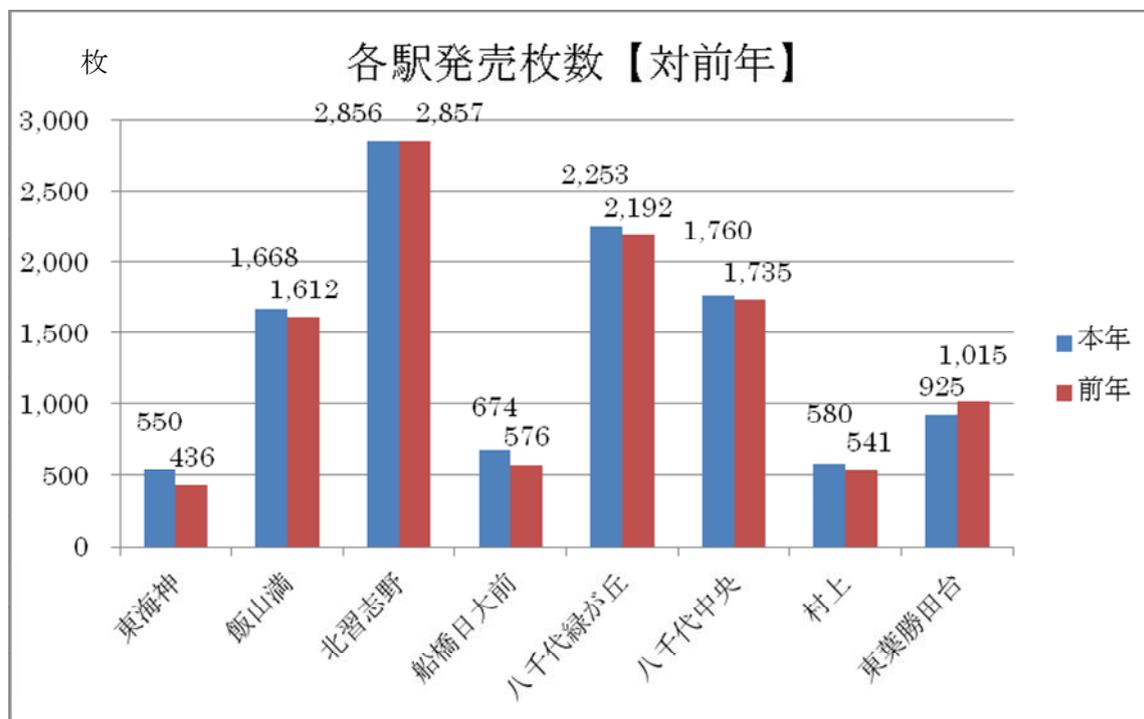
公共施設での配布の様子

### (3) 実績

#### ① 発売枚数実績

発売枚数合計 11,266 枚（前年：10,964 枚）対前年+2.8%（+302 枚）

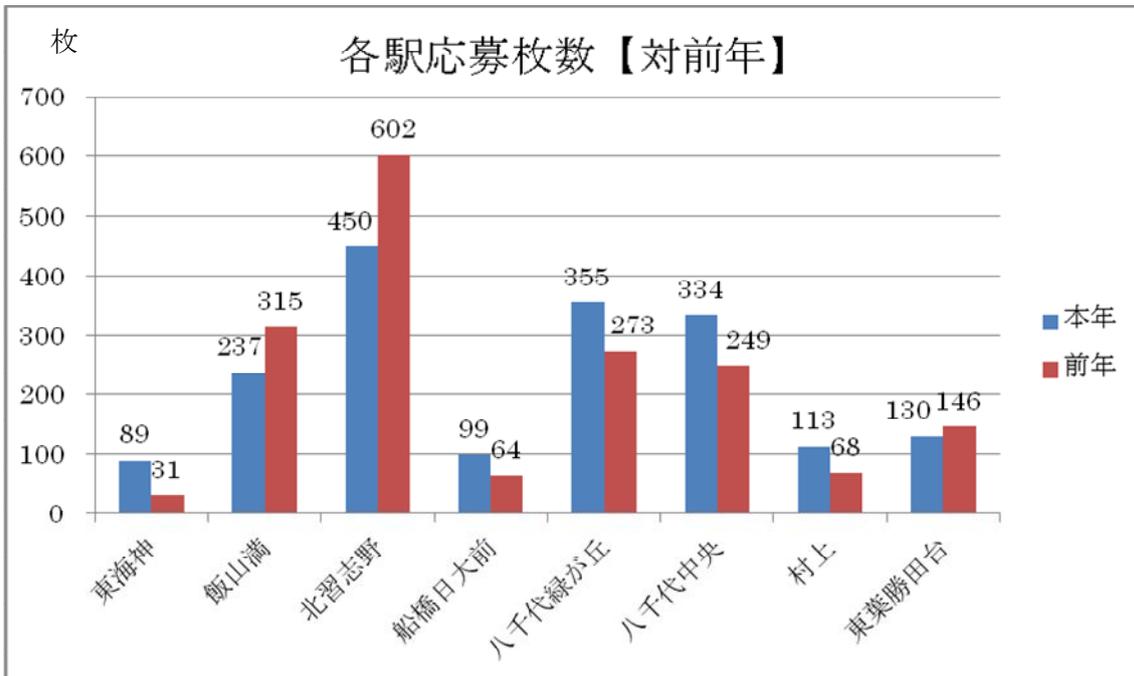
一日平均 256 枚（前年：249 枚）



各駅の発売枚数は、東海神・船橋日大前・八千代緑が丘などで若干の伸びを示したが、東葉勝田台では 90 枚減となった。今後は、東葉勝田台周辺のPR強化をしていきたい。

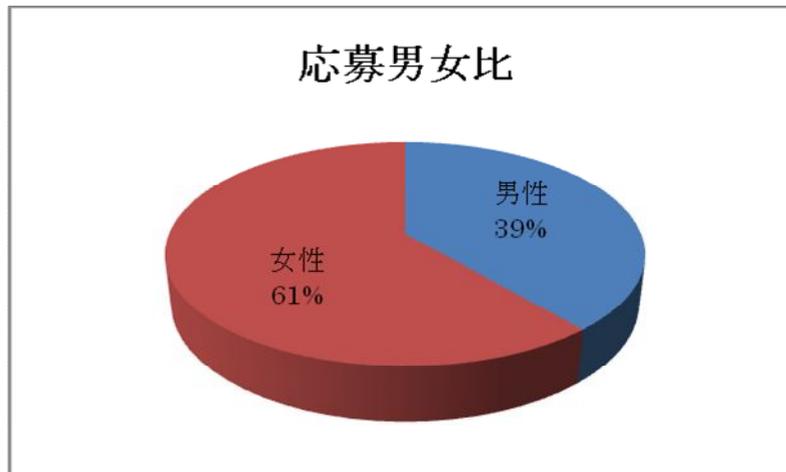
## ②応募用紙回収実績

応募者数 1,807 枚（前年：1,748 枚）対前年+3.4%（+59 枚）



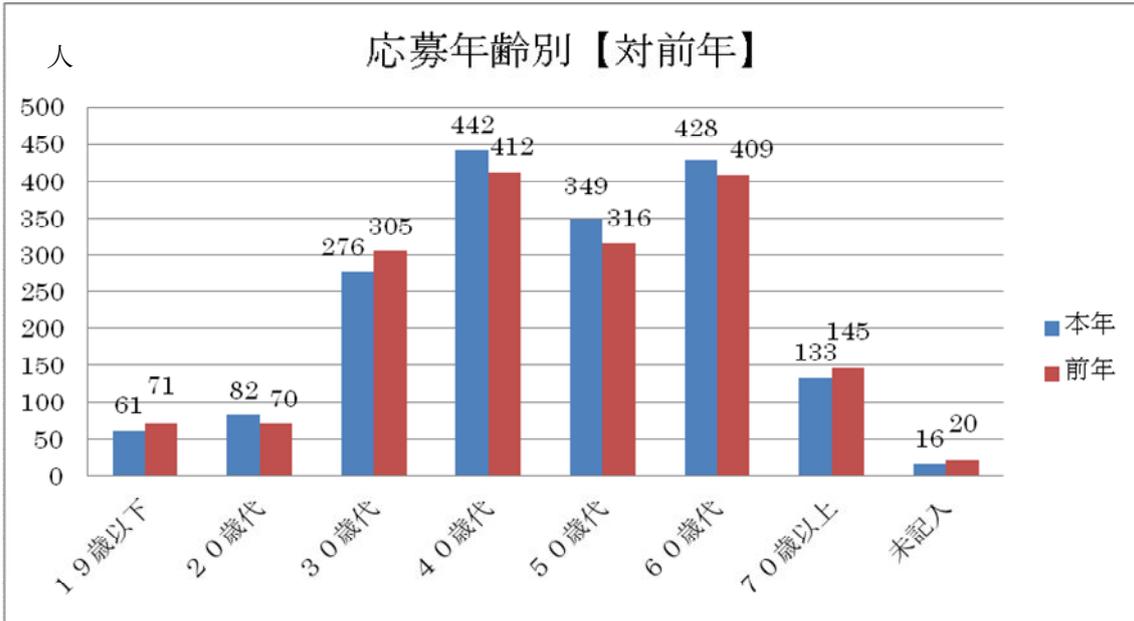
各駅の応募枚数は、東海神・八千代緑が丘・八千代中央などで伸びを示したが、飯山満・北習志野・東葉勝田台で減少した。今後実施の際には、応募用紙の配布方法や回収期限などを見直していきたい。

## ③男女比



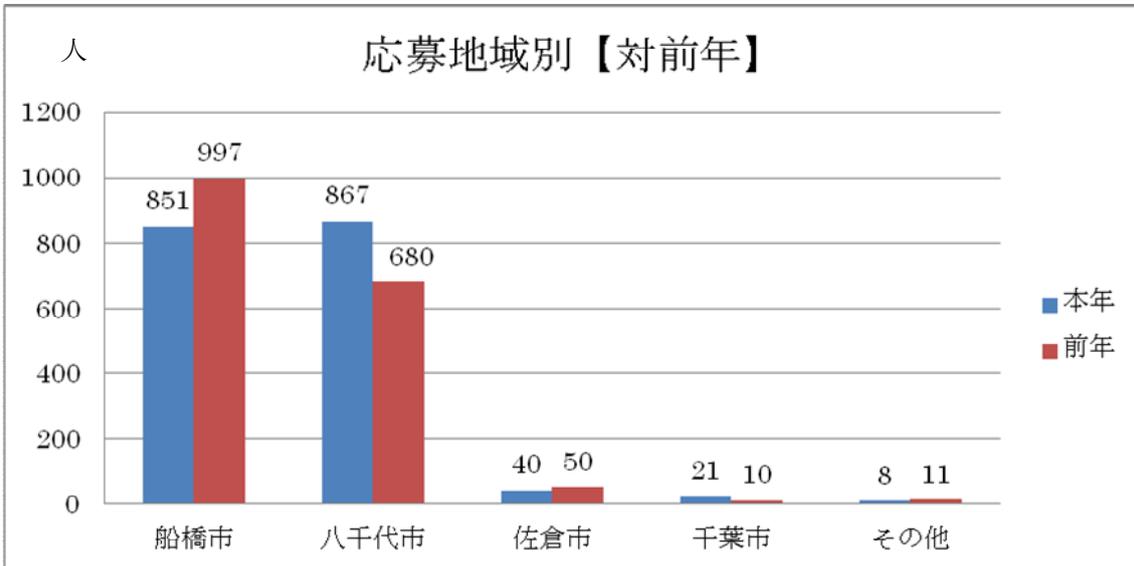
男女比は、男性は 39%女性が 61%と女性が過半数以上を占めており、男女構成比は前年（男性：35%女性：65%）と比較して大きな変化はなかった。

#### ④応募年齢別比



応募年齢別比は、40歳代、60歳代、50歳代、30歳代と順に応募が多く、ターゲットとしていたシニア層の応募も増加した。30代～50代は、前年に比べ53人増加した。

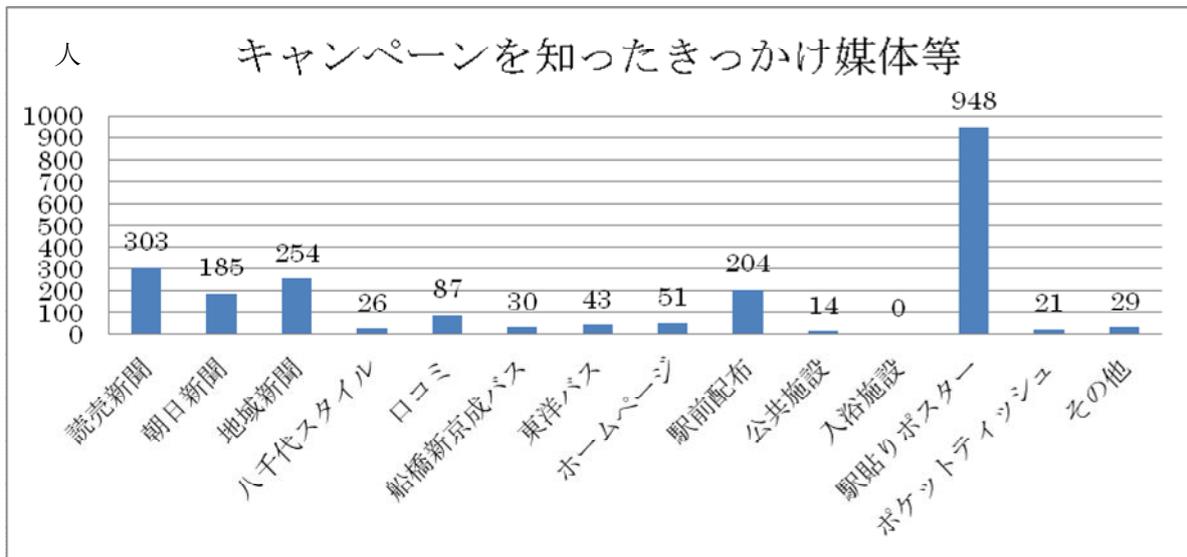
#### ⑤応募地域別



応募地域別は、八千代市が867人で前年（680人）と比べ187人増加した。船橋市は、851人と前年（996人）に比べ145人減少した。※北習志野の応募が減少したため。

#### (4) アンケート集計結果

##### ①キャンペーンを知ったきっかけ（複数回答）

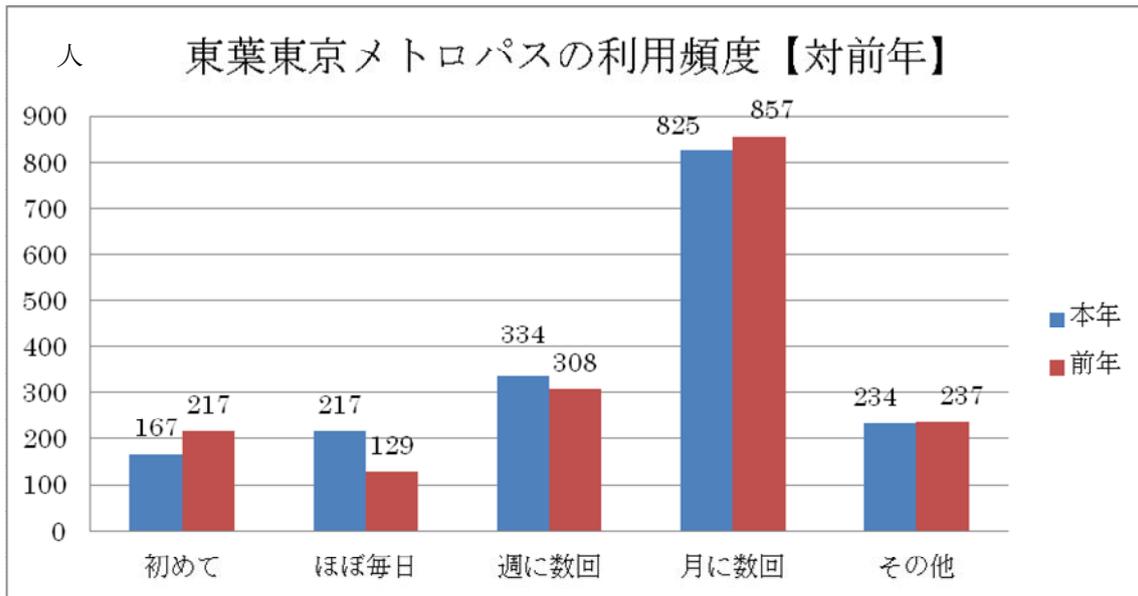


キャンペーンを知ったきっかけは、駅貼りポスター・読売新聞・地域新聞・駅前配布・朝日新聞の順となった。プロモーションで実施した駅前配布は、チラシなどの配布物に興味を示す方が多くいた。また、PP袋にグッズも入っており、周辺ゴミ箱に捨てられることもなく持ち帰られ、家族などでチラシを見られ、口コミ効果もあったのではないかと考えられる。 ※アンケート集計の中で、その他欄に「家族からの勧め」が多数あった。

前年口コミ件数：79件（1割増）

また、配布時に多くの方に質問もされ、興味を持っていただけたのではないかと。しかし、プロモーション企画の入浴施設配布については、無回答で、東葉東京メトロパスの認知はしていただけたと考えているが、キャンペーンへの効果はなかった。

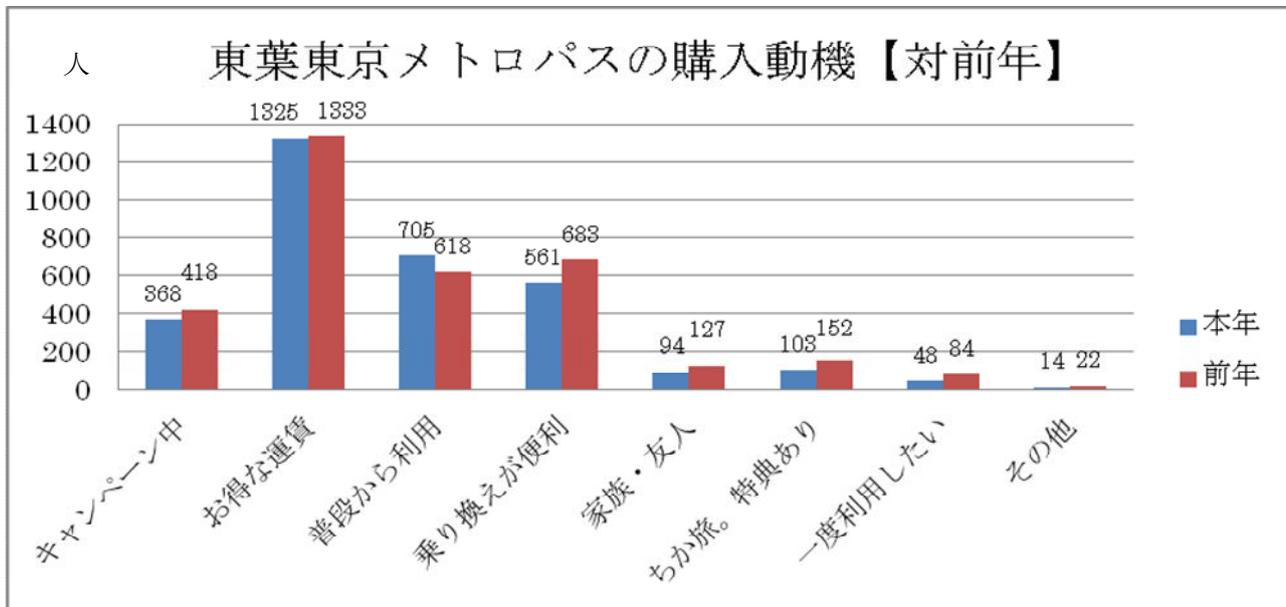
## ②東葉東京メトロパスの利用頻度



利用頻度は、月に数回、週に数回、ほぼ毎日の順となった。一度、東葉東京メトロパスを知れば継続して利用していることが表から分かる。

また、「初めて」利用する旅客が年々減少してきていることから着実に認知されてきていると考えている。

## ③東葉東京メトロパスの購入動機（複数回答）



購入動機は、「普段から利用」を除き全てで減少。東葉東京メトロパスは、発売開始から約4年が経過し、東葉高速線の利用者に認知され、お得な運賃である東葉東京メトロパスを日常的に利用するようになってきていると考えている。

#### ④東京メトロ線内の利用駅（上位10駅）

今回順位	下車駅	人数	前回順位	前々回順位
1	銀座	560	1	1
2	日本橋	507	2	2
3	大手町	306	3	3
4	飯田橋	182	9	—
5	新橋	123	8	7
6	表参道	117	6	5
7	渋谷	115	4	4
8	上野	111	—	6
8	池袋	111	7	9
8	新宿	111	10	8

※東葉高速線から東京メトロ線へ下車駅上位10駅

#### （5）実施総括

今回も東葉東京メトロパス販売促進キャンペーンを実施し、8駅全体で発売枚数・応募者数の増加をした。しかし、東葉勝田台の利用率が減少しているため、ポスターの掲出場所・告知方法などを見直し、発売増につなげていきたい。

また、「ちか旅。」特典を利用されていない方が8割以上もいたため、対象施設で乗車券を提示すると更におトクであることを強調し、更なる販売促進に取り組んでいきたい。

来年度の販売促進キャンペーンについて（検討）

- ①メトロパスを発売している7社（小田急・東急・東武・TX・西武・埼玉高速・東京メトロ）で合同キャンペーンが毎年1月下旬から2月末まで実施する予定であるが、これに東葉高速も参加して実施する。
- ②今回同様に告知方法などを見直して、東京メトロと東葉高速の2社で実施する。今後、上記2点について、各社の費用負担および販売促進効果など見て、実施を検討していきたい。

## 6. コンコース行先表示器の設置

### (1) 事業概要

#### ①目的

行先案内表示器を改札外コンコースに新たに設置し、運行情報や沿線の催し物情報の提供を行うことにより、地域の方々の利便性や交流の可能性を高め、東葉高速線の利用促進及び地域の活性化を図ることを目的とする。

#### ②設置駅

東海神駅、船橋日大前駅、村上駅

#### ③行先表示器の様子（写真は昨年度設置した八千代緑が丘駅の様子）



### (2) 今後について

平成 24 年 3 月に運用を開始できるよう、現在工事に取り掛かっているところである。

改札外に設置することにより、東葉高速線の利用者のみならず、多くの方に催し物等の情報を提供することができる。

昨年度は、飯山満駅、八千代緑が丘駅、八千代中央駅の 3 駅に既に設置し、今年度の設置分と合わせ、6 駅に整備することとなる。

また、来年度は、同様の LCD の行先表示器を東葉高速線の全駅（西船橋駅を除く）のホームにおいても新設する予定である。

## 7. モビリティマネジメントのリーフレットの作成

### (1) 事業概要

#### ①目的

モビリティマネジメントの認知度向上を図ると共に、自家用車から公共交通機関、特に東葉高速線を利用する際の魅力をPRし、より一層の利用促進につなげる。

#### ②事業内容

自家用車を利用している沿線住民の方を対象に、買い物及びレジャー等での移動手段として、東葉高速線を利用していただけるようなリーフレットを作製及び配布を行う。

なお、リーフレットの配布により自家用車から公共交通機関への利用手段の変化を測るため、リーフレットに切り離し可能なアンケート用紙を挟み込み、アンケートを実施する。その回収には、西船橋駅を除く東葉高速線各駅の窓口に設置してあるお客様の声の回収ボックスを利用する。

#### ③リーフレットの掲載内容について

- ・モビリティマネジメントの説明
- ・モビリティマネジメントにおける環境へのメリットのPR
- ・自家用車と比べた場合における東葉高速線のメリットのPR
- ・東葉高速線の運賃表、所要時間及び路線図の案内
- ・東葉高速線各駅の施設及び営業の案内
- ・東葉高速線各駅周辺の駐車場及び駐輪場の案内
- ・東葉高速線駅別のバスの案内
- ・東葉高速線の沿線施設等の案内
- ・東葉高速線から商業施設及びレジャー施設等がある主要な最寄駅までの鉄道アクセス情報の案内
- ・東葉高速線の企画乗車券及び回数券のPR
- ・村上駅駐車場、公設掲示板及び行先表示器のPR
- ・アンケート（※回収方法はお客様の声の回収ボックスへの投函）

#### ④リーフレット作製部数について

5,000部

#### ⑤リーフレットの配布方法について

- ・東葉高速線沿線の商業施設や公共施設等のラックに置かせていただく
- ・沿線住宅へのポスティングを行う

#### ⑥リーフレットの配布時期

平成24年1月～2月

## ⑦リーフレットのデザイン



### (2) 今後について

平成 24 年 2 月末までリーフレット付属のアンケートの収集を行い、その後、効果の測定を行っていく。

以上